京城日報
朝刊
本日朝夕刊共六頁

海軍落下傘部隊及び航空隊に感狀

開戰初頭、不滅の戰果
畏くも上聞に達す

【東京電話】[illegible]海軍落下傘部隊はセレベス島メナド郊外のカカス飛行場に急襲降下、これを占領、[illegible]二月二十日チモール島クーパンに奇襲降下し[illegible]聯合艦隊司令長官より左の通り感狀を授與され、右の旨上聞に達せられたり

[illegible]ジャワ方面[illegible]又第〇〇航空隊は一月下旬、當時未知なりしボルネオ中部の敵航空基地メラクを探索急襲して所在の敵全機を覆滅し、二月十八日及十九日スラバヤを强襲して敵機二十七機を擊墜破しバリ島進出後連日の敵襲を排擊しつゝジャワ東部敵航空兵力を殆ど擊滅せり、兩航空隊偵察機隊は蘭印要地のみならず、遠く豪洲北部要地まで遠距離偵察を敢行せり、蘭印作戰[illegible]

感狀

第〇〇航空隊

[illegible]

戰鬪概要

[illegible]

感狀

横須賀鎭守府第〇〇特別陸戰隊

昭和十七年二月二十日クーパン攻略戰に參加し友軍航空部隊の協[illegible]

[illegible]開始よりジャワ勝敵定までの兩隊の戰果左の通り
▲第〇〇航空隊 擊墜八十六（不確實八）炎上六十五、擊破廿五計、百七十六
▲〇〇海軍航空隊 擊墜六十五（不確實廿一）炎上七十三、擊破十八、計百五十六

部隊の進出を速かならしめたるは、爾後の作戰に寄與せるところ至大にしてその武勳顯著なりと認む
仍て茲に感狀を授與す
昭和十七年五月二十七日
聯合艦隊司令長官 山本五十六

戰鬪概要

横須賀鎭守府第〇〇特別陸戰隊は落下傘部隊としてクーパン攻略戰に參加、二月廿日、同廿一日の兩日にわたり友軍航空部隊協力の下にクーパン飛行場東方十四キロの牧場に奇襲降下せり、敵はさきに海路より同飛行場攻略に向ひたる友軍別働部隊との先頭正面より戰車、裝甲車を有する主力を以て反撃し戰車五台、裝甲車八台を捕獲し遂にこれを突破し、友軍部隊の飛行場占領を容易ならしめたり、かくて廿二日飛行場に到達するやさらに附近要地を確保して翌廿三日第〇〇航空隊をしてこれに進出するを得せしめたり

落下傘部隊空中降下の光景（昭和十七年一月十一日メナド方面に於て第一回第七二九號海軍省許可済）

海軍落下傘部隊輝く壯擧に感狀

苦心の猛訓練
世界一、我落下傘部隊

【〇〇同盟】海軍落下傘部隊に對する感狀上聞に達したとの報につき、落下傘部隊育ての親〇〇海軍航空部隊司令は『さぞ地下にある落下傘部隊の勇士も喜んでくれるだらう』と雷頭してその育ての苦心を左の如く語る

落下傘を取扱ふこととなつた時、私が考へたのはすでに獨逸やソ聯ではやつてゐるが、わが國には初めてで、しかも命令は急いでやれとの作戰に使へるやうにやれとのことであつた、以前飛行機搭乘員の人命救助に使ふ落下傘の實驗をやつたことがあるので開傘技術はよく知つてゐたが、大きな部隊を降下して使ふのはなかなかの苦心である、しかも今度のは一人でも人命をなくすることは出來ない、これで大丈夫だと確信の行くまではなかなか實行出來なかつた、そこでダ…（砂袋で造つた人形）を投下して幾度も實驗した、搭乘者を出さないことに非常に苦心したが改造し、かうしてわが國最初の落下傘部隊を造り上げたのである、いざやつてみるとなかなか難かしかつた、その實驗は〇〇少佐が擔當したのである、また落下傘の指揮者は〇〇中尉その他にやらせ訓練生〇〇名が第一回の訓練員を組織してやつたのである、落下するときには餘程身體を鍛へなければならない、かくして訓練中は非常な意氣込みでやつたので短期間に仕上げられるといふ確信がついた、第一回の飛び降りをやつて以來落下傘の改造その他について大いに研究した、最後に綜合訓練をやつたがそれ以來どんどん工夫改造し、いま私は落下傘こそ、日本人のやうに思ひ切りのよい性格の者には非常に適當であるといふ確信を胸の中に抱いてゐる』

朝鮮統理の根本
些かの搖ぎなし
田中政務總監歸任談

【釜山にて岡林特派員發】昨日は東、今日は西、半島統理實踐の重大責務を双肩に滯京廿五日間に亙つて精力的活躍を續けて來た田中政務總監は、一先づ中央情勢が落着くべきところへ落着き、見透し得る段階に達したことゝ、これと關聯してまた小磯新統理人格の實踐準備が愈よ實行期に入り、切迫したことによつて十六日東京發急ぎ歸鮮の途についたが、正に一ケ月目に當る十八日夜、釜山上陸歸鮮、西岡慶南知事、大和田地方鐵道局長等に出迎へられ直ちに鐵道ホテルに入り記者團と會見、少憩のゝち九時發列車で大野祕書官及び家族同伴一路京城に向つたが記者團との會見においては『今度は滿身創痍で歸つて來た、だいぶ痩せたよ』とちよつと笑つてみせたあとで、やゝ陽灼した顏に終始緊張の色をみせて左の如く語つた

持つて行つた案件は順調に經て解決したのであるが、歸任直前に大東亞省設置に伴ふ内外地連絡方式變更問題が起り、豫定の滯京十日間、往復廿日間が非常に延びることになつた、當初の案は台灣と同樣に、朝鮮に對しても統理大臣（内務大臣）が全面的に監督するやうなものであつたが、この一般的監督といふ條項は削除され從來の拓務大臣對總督と同じ關係に立つこととなつた

從來の奏上條項もまた新たに内務大臣を經るといふ字句が入つただけで何等變らないことになつた、ただ數項のものについて關係大臣の監督を受けることが新たに加つた條項である、私としては朝鮮が帝國の領土であり、内鮮一體を終極の目標としてゐる以上これは當然辿るべき道であらうと思ふ、然し朝鮮が内地と異つた特殊の關係に立つ地域である事實については必ずしも中央政府の人達と全然所見を一にすることではなかつたので、いひ換へれば、私の意見を持つて行つたのでそれ等の點に對し極力説明し主張もしたのである

結局に於ては前言の如くなり閣議の決定を見た、日本を中心として將來のこれが運營について考究してゆき甚るしい變化のないやうにしてゆきたいと考へてゐる、ただこの點について將來の運營上都合よいであらうと思はれるのは、外地行政の系統調整のために新しく連絡委員會を内務省に設けることになつたことである、從來總理大臣（拓務大臣）が自分の部局として管理、獲殿の二局においてこれをなし來つたのであるが、新機構においてはこれに相當するものとして管理局（假稱）を内務省に設けるほか、更に連絡委員會を設けて調整することになつたことは最大の進歩と見られる

これ等内外地關係の接近により人事の交流問題も起るが、問題は極力優秀な人物を交流しあふべきであると信じこれを主張した、書記官長も賛成したほか、四長官も賛同したので朝鮮としても大きく帝國全體の事柄を見て行くやうにし、相互が或は内地に、或は外地にと躊躇することなく、交流しあふべきである、そのためには朝鮮の人も内地方面でどしく採用して貰ふのでなくては困る、總理にも話したら傾聽してをられ、次の閣議で内地も考へなければならないと各大臣に話されたのである

内地的眼光、識見で外地を取扱つて貰ふことはいかぬ、我々は内外地一體について何等反對ではないのであるが、ただこの内地のみを考へてゐる人が多ければ、歳ら制度を變へても意味をなさないと主張してゐるのである、これは統治の問題であるが、統理とは監督を含まぬとの解釋が通常である

私が歸任して行ふ簡素化に伴ふ機構改革は豫定通り十月一日に行ふ積りである、部局の廢合は當然人員の減少が主眼でなく、機構の再檢討である、されば現部局制に對し檢討を加へた案を持つたのであるがこれは延期となり人員減少の範圍に止められることになつた

減員の南方要員充足は朝鮮が北方に對する地位において積極性を取らない、中央の要請があれば別途の希望のみに止められる、まあ今度は滿身創痍一方の血路を切り開いて來た譯だ

外務次官決定
山本熊一氏を起用

【東京電話】谷外相は就任後直ちに次官の人選に移つたが、現外務次官心得山本熊一氏起用を適任と認め十八日の閣議で決定したので同日午後四時外務省から左の如く發表された

外務省東亞局長兼外務省亞米利加局長 山本熊一
任外務次官（一等）

外務辭令（十八日）

【東京電話】
外務事務官 塚本毅
任總領事（二等）ハルビン在勤被仰付

小磯總督歸任

小磯總督は大野祕書官、淸水陸軍松本海軍兩御用掛を從へ十六日京[illegible]十八日午前十一時四十五分京新しい[illegible]

上瀧殖産局長 多獅島港視察

【新義州電話】第九回全鮮工業者大會に出席のため…十八日午後十時五十分滿浦線の工業地帶を視察、つぎのやうに語つた

上瀧殖産局長は折柄來新中の北野第五海軍燃料廠長とともに午後一時から三時間にわたつて多獅島港並沿線の工業地帶を視察、つぎのやうに語つた

沿線はあらゆる條件に惠まれてゐて大いに發展性がある、多獅島港は初めて見たが背後地の關係から早急に完成されねばならぬと思ふ

[illegible]城、慶尚北道管内初巡視を行つたが十七、八兩日に亙り大邱、慶州、浦項、盈德、安東の各地を巡行軍で視察、特に兒童の給食狀態、漁場職に製鹽工場などを熱意を以て視たが十八日午後十時五十分滿蒙電着元氣一杯歸任した

印度議會休憩

【リスボン十七日同盟】ニューデリー來電によれば、印度議會は多くは英國御用議員の發言で終始されてゐるが、印度人議員中には現下の騷擾當局の國民會議派に對する措置に對して相當辛辣な批判を加へるものも出て議事混亂を呈し、空氣一新のため十七日は討議休憩、十八日改めて續行となつた、十六日の討議で問題となつたのは在印勞働組合會議祕書長エル・エム・ジヤツシの發言で、英當局が國民會議派と交渉をくづつかせてゐる事實を非難し印度國民は自治的國家の建設に對し一致協力して邁進すべき必要あることを力説し次の通り述べた

英印當局は印度を續る現在の政治的緊張狀態につき本會議に詳細報告してもよからう、英政府はその現狀維持的政策を直ちに變更して國民政府を樹立せしめるべきである

一方、回教徒聯盟領袖マウラナ、ザフアール・アリー・カーンも直ちにガンヂーを釋放せよと叫んで議場にセンセーションを起した

ウイルキー暗躍

【クイビシエフ十七日同盟】西亞諸國歷訪中であつたアメリカ大統領特使ウイルキーは十七日テヘランよりクイビシエフに到着した、ウイルキーはテヘランでイラン國王モハメツト・パーレビと長時間にわたり會談を遂げた、クイビシエフでもソ聯要人と會見を行ひ、またボルガ河の新水力發電所および西部戰線から移轉した諸工場地帶を視察出來得れば前線訪問をも行ふはずである、さらにウイルキーは恐らくモスコーをも訪問してスターリン首相などと意見交換をなすものと見られてゐるが、ソ聯訪問が終れば重慶に向ふ豫定である

獨軍戰況發表

【ベルリン十七日同盟】ドイツ軍司令部發表

東部戰線 一、要塞都市スターリングラード攻略戰は引つゞき間もなく進捗中である
一、テレク河畔では頑强なる赤軍の抵抗を排して[illegible]
一、ドン戰線の赤軍は反撃に加へ來つたがハンガリー軍はを擊退赤軍戰車廿四台を擊破[illegible]

對英戰線 一、ドイツ軍は十六日イングランド南[illegible]業地帶鐵道を畫夜爆擊するとともにコークネー群島のイギリス軍兵舍を急襲多大の戰果を收めた

社説 外交・宣傳の一體化

一

政府は專任外相として、情報局總裁谷正之氏を起用、併せて情報局總裁を兼攝せしめることとなつた。大東亞戰爭下、國際關係の愈よ複雜、緊迫をつげる時、專任外相の確定を見たことは帝國外交推進力に磐石の力强さを加へるものとして寔に喜ばしき限りである。谷新外相の外交手腕については、朝ケ關における國民の信賴が絕大であつて餘りあるほどであつて、帝國の非常時外交を擔負ふべき專任外相として申分なき適任者であることと勿論である。しかし、新外相の就任によつて帝國外交の基調に變化があるべきでないことは新外相が既に語つてゐる通りであつて、我が不退轉の毅然たる外交既定方針が微動だもするものでないこと勿論であらう。從つて我が外交の行くべき道に期待するものは從來と何等變りなきものであるが、我々の特に意義を感ずる點は、外相が情報局總裁を兼攝することによる外交宣傳の一體化といふことである。

五

大東亞戰爭以來我國の宣傳下手が著るしく上達して來たことは事實であるがなほ我國の宣傳情報機關としての情報局が未だ成立以來その歷史淺く、特に機構的に手足を有してゐなかつたことは獨、英、米などの諸外國の偉大なる宣傳力に遜色ながら一日の長を讓らねばならぬことを認めざるを得ないのである。

かゝる意味からすれば、宣傳省或は情報省といつた獨立の機構が理想であつて、實現し得るならば實現したに越したことはないのである。今回外相が情報局總裁の兼任によつて、實質的に外交出先機關を情報局がその手足として利用し得ることとなつたことは、對外的宣傳活動力を强化するに大いに役立ち、これによる宣傳効果が從來より著るしく期待されることにならう。然し宣傳省或は情報省の理想よりすれば未だこの途遠しであつてこゝに我々の期待する點は今回の外交、宣傳一體化が更に宣傳機構の理想に飛躍せんとする端緒となればこの上もなきことと思ふのみである。

國民武裝の道

滿洲事變記念日の九月十八日京城師團主導のもとに、朝鮮における銃劍道振興會の結成を見たことは、半島に徵兵制施行を近くみようとする今日、一層その意義の深さを覺える。京城師團報道部長臨村大佐によれば、鬪ひの能力は行軍、射擊、銃劍術であると敎へる。これを江上中佐は更に『軍の主兵は小銃を執つて戰ひ射擊し前進し突擊する。この白兵突擊なくしては最後の決を與へられない』と力説してゐる。かゝる銃劍術が國民皆兵の日本の國民において、今日まで何故に等閑に附せられてゐたのであらう。これまで柔、劍道が國民敎養上の功績は確に大きい。しかしそれは實戰的見地に立つとき、精神的對象の面でしかない。假に中等學校以上に見るに正科ではあるが、學生の選擇によつて修むる個人的種目であり、學校競技の分科的形態を現出して武道としての國民的普遍性を稀薄にしてゐる。

こゝにおいて、銃劍術を以て國民武道とする銃劍道は、新たな敎練百般の中の一內容として課せられてゐるに過ぎない。銃劍は武道として熾烈なる意識をもつて登場した。『實戰的武道の粹たる銃劍道は國防武道として精練を要する處極めて大なるにあり、これを皇國臣民に普及徹底し、以つて斯道の振興を圖る』と、振興會は宣言してゐる。聖戰遂に火玉の彈雨下の日本は今ぞ堂々、滔々たる國民鍛錬道の主流として、高度國防の建設に國民必須としてこれを課すべきである。

然るに柔、劍道は學校敎育においては正科とし、百般が與へられてゐる。それに反して銃劍道は敎練百般の中の一內容として課せられてゐるに過ぎない。敎練の百般が、各個敎練、戰鬪敎練、陣中勤務、國防知識などの諸要目に分けられてゐるその現狀は、充分檢討に値する。銃劍が軍人の特技であつたのは大東亞戰以前のこと、國民は一日も早くこの國民武道を百般とすべきである。さうすることは國民武裝の完備を意味する。

停戰交涉決裂
佛軍、マ島死守を言明

【ビシー十七日同盟】マダガスカル島アンネ總督は同島英軍司令官の停戰意向を確めるため交涉を開始してゐたが、英國側の提出した停戰條件が苛酷なため同總督はこれを拒否し交涉は決裂した、右に關し佛植民長官ブレビは十七日左の如き聲明を發した

マダガスカル島アンネ總督は休戰交涉開始に關し英國側の意向を打診したが英國側の提出した條件は全然受諾し得ぬ性質のものであつたので休戰による同島情勢の收拾は不可能となつた、かくてアンネ總督は同島の防衛を最後まで繼續する決意を固めた、從つて佛國民がこの問題に關する外國筋の報道に惑はされぬやう警告したい、英軍は僅か百七十キロ前進したに過ぎぬ、佛軍の兵力ならびに武器が如何に劣勢でも佛軍はあらゆる手段に訴へて戰鬪を繼續するものである

ローマ法王廳内部に國府承認論擡頭

【上海十八日同盟】當地に達した情報によれば、さきにわが國と外交關係を樹立したローマ法王廳の內部に國民政府承認の聲が漸く擡頭しはじめたが、關係各方面の斡旋努力によりその實現は案外早いのではないかと見られてゐる

佛印最終經濟會議

【サイゴン十八日同盟】佛印最終經濟會議はドクー總督司會の下に十七日總督府で開かれ、ゴーチエ事務總長、マルタン經濟部長、ドボツサンジエ外交部長など出席、日佛印經濟協定に沿ふ新しい財政經濟政策の施行について協議した

對樞軸即時斷交案
亞國下院委員會否決

【ビシー十七日同盟】ブエノスアイレス來電によればアルゼンチン下院外交委員會は十六日樞軸國との即時斷交案を審議表決の結果、多數をもつてこれを否決した、アルゼンチンの下院は現内閣反對派たる急進黨が絕對多數を占めてゐるだけに下院外交委員會における同案の否決はアルゼンチンの中立政策が政治指導層の一致せる支持を得てゐるものとして注目される

ソ聯戰況公表

【モスコー十八日同盟】ソ聯情報局は十七日夜の戰況公表においてスターリングラード市內戰入、市街戰の展開を認めつぎの通り發表した

一、赤軍は十七日スターリングラード西北隅およびモズドク地區において激戰を行つた
一、スターリングラード西北隅においては激戰が續行され、樞軸軍は如何なる犧牲をもつてしても市防衛軍の抵抗を制壓せんと企圖して絕えず赤軍を攻擊してゐる
一、獨軍個々の部隊はすでに市街各方面に進入することに成功、困難な市街戰鬪が行はれこの戰鬪は白兵戰にまで進展してゐる
一、モズドク地區においてはわが軍は樞軸軍の攻擊を擊退した

人

◇韓相龍氏（中樞院顧問）滿洲建國十周年記念式典參列、廿一日『のぞみ』で歸城豫定

南居北

ガンヂーの對日公開文なるものが發表された▲その中に、南阿に在りしガンヂーは日露戰爭における日本の勝利を聽いて感激したと告白してゐるが▲この日本の對露勝利が印度の獨立運動に大きく影響してゐるのは爭へないやうである▲卽ちアジヤ民族にして白人種に打勝つことがあるといふ感銘は、當時の印度においては相當に深かつたと見るべきであらう▲然しガンヂーそのものゝ對日認識は彼自身告白してゐるやうに、彼がロンドン留學時代に既に正しく把握したとあるが▲その大和民族の優秀卓越性を敎へたのが英人であるのは、聊か今日皮肉のやうに感ずる▲ガンヂーは、又この公開文の中で印度の反英抗爭を英國統治に對する『非武裝の叛亂』であるといひ『決死的かつ友好的紛爭』と書いてゐるが▲これは抗爭といふ暴力的乃至意力的行爲を彼一流の宗教的思想で理論づけようとする表現のやうに感ぜられる▲今日においてもさうであるが、ガンヂーの鬪爭にもう一つ徹底したものがあつてもいゝやうに思ふのはこの點である▲もう一つ彼は英國が若し印度獨立を承認したら日本は印度を攻擊しないであらうといつてゐるが▲それは獨立承認のしやう一つであつて、印度があくまで英國と共にあらうといふ意思があるなら▲その承認された獨立は眞の獨立でなく、虛飾された獨立である▲眞の獨立はアジヤの印度に還ることであり、英國の羈絆を斷ち切ることである

闇にくつきり敵艦　感動に焦點も搖ぐ
ツラギ海戰　カメラ從軍記

【〇〇基地森田（雅）海軍報道班員十七日發】記者はソロモン海戰中の壯擧であるわが艦隊の突入（ツラギ海峽夜戰）作戰に從軍したが以下はその從軍記である

私（森田報道班員）は、カメラマン唯一の武器である愛用のライカを持つて參加し旗艦〇〇の艦橋からファインダーを通じて次々と猛火に包まれてゆく敵艦の凄慘な斷末魔を見た、わが艦隊は滿々たるうちに殺氣さへ孕んで〇〇ノットの快速をもつて海峽に突入しつゝあつた、一切が闇であつた『黑影右〇度敵艦らしい』と見張りが叫んだ―私は闇の双眼鏡の中に瞳を凝して闇の水平線を探つて見た、水平線のずつと手前に眞黑な敵艦がはつきりと影繪のやうに見えた少くとも〇〇メートル以上はあるのだらうか、海特に闇の海上での素人の目測ではひどく近いやうに思はれるのだつた、これなら物になると思つた、もう少し近づいてくれゝばと、そして一刻も早く砲撃の始まるのがひたすら待たれたフイルムに感光する光がなければカメラマンとして仕事にならないからだ、敵は氣づかないらしい、何かうづくするもどかしさと、戰慄するやうな緊張が身内を慄くするのを覺えるのだつた、わが航空部隊の晝間の猛攻によつて炎上した敵艦船が東南の空をほんのりと赤く染めるのが行手に遠く見えるそれからどれだけの時間が經つたか解らない

が、突然左舷のガダルカナル島の上空にぽつと青白い吊光投彈が落された、愈よ戰鬪開始だと一層身の引締る思ひでライカを固く握りしめた吊光投彈が次々に落されて肉眼にも敵艦がかすかに見える、と足下でヒユツ、パチヤンパチヤンと魚雷發射の音がした、私は殆ど無意識でファインダーを覗いてゐた、勿論遠い敵艦が映るはずもない闇であつた、其から數秒の後進行してゐる二番艦、三番艦の主砲が左舷に向けて一齊に砲撃を開始した、私のゐる旗艦は左舷に探照燈を照してゐるのか煙突やマスト附近が青白く光つて見えた、私は主として右舷戰鬪と聞かされてゐるのだが、光の壯觀さはどうも左舷がいゝらしいと、とつさに判斷したので側の水兵さんに『左舷ですか』と聞いた『左舷です』とたゝきつけるやうな返事があつた、魚雷の成否を見ないのが心殘りだがとにかく明るい左舷に出ようと私は狹い眞暗な艦橋を左手にライカを持ち右手で足許をさぐりながら這ふやうにしてやつと左舷に出たとたん にぐわんとすぐ下で火蓋をきつた主砲の砲撃に毆りつけられるやうなショックをうけて傍らの鐵棒に思はず摑まつてしまつた、耳には堅く栓をつめてゐたのだが暫くはジーンとなつてなにも判らない程であつたしかしすぐいまこそ待望の『夜戰の光り』があるのだといふ意識が私を驅りたてた、主砲はつづけさまに火を吹いてゐる、その前に艦橋全體がぐらぐらと今にも壞れるほどに搖れるいくら足をふんばつてゐても身體がたたきつけられるやうによろめくたに主砲の火をファインダーに捉へるのが容易ではな かつた探照燈と燃えあがる艦橋の火で海は一面ぽつと明るい二條の探照燈の光芒が捉へた二隻の敵艦の燃え上る姿が見える、焔と探照燈に照らされ て敵艦の水柱が闇の中に青白く光つて盛りあがる、美しいとも壯絶とも言葉で盡せない、その光景をファインダーの中に見ながら私は夢中でシヤツターをきつてゐた、なんとかしてこの光景をフイルムに收めたい私を驅りたてるのは、それだけだつた、艦橋の周圍の鐵柱にしつかりと身體を押しつけて足を力一杯ふんばつてファインダーを覗くのであつた、もりあがる黑い砲煙に敵はかくれて眼の先が一時まるで見えなくなる、爆風と砲煙の去つたあとの非常に短い週期的な時間を利用して シヤツター を押すのであるが、爆風の激しいショックで思はずシヤツターを押してしまつたり今度こそはと狙つても押してゐるうちに爆風をうけ、カメラを支へきれなくなつたりして何度か失敗を重ねた我正確無比な砲撃に敵艦はつぎつぎと火災を起し猛火に包まれて行つた、右に眼を移すと艦の後半分位を猛火に包まれ煙突もマストも砲塔も手にとるやうに火焔の中に浮出し て見える 敵甲巡が勇敢にも こちらに 向つて進んでくるのが見えた、前部 の主砲と機銃だけを 盛 にうつてくる、『よしこいつを』とファインダーで狙つたが海戰では二、三千米といふ距離は文字通り眼々相撃す程の接戰であらうが、カメラにとつてその距離はあまりに遠いのだ、いろいろの事情で私は望遠レンズをもつてゐなかつたのだ明るい二百ミリ以上の望遠レンズがあつたら闇の中で猛火に包まれながら最後の砲火を吐いて抵抗する斷末魔の敵艦をマストの一本一本迄も影繪として寫すことが出 來る のを私は恐らく 一生に二 度と見られない であらう その凄絶な敵艦 を睨みながら殘念みをしたい程口惜しかつた、カメラマンとして私は最善を盡したのだといふ滿足はあつただがいままで經驗したこともない吹き飛ばされるやうな爆風の中でどれだけ明確に寫し得たらうかといふ懸念に心が重くなるのであつた、しかも三千米以上を隔てた遠い闇の中に燃える敵艦をカメラは果してどれだけ如實に捉へてゐるだらうか、私は自信がなかつたそしてカメラのレンズが捉へ得る距離と鮮鋭度の限界性といふものが收めてしみじみと幽暗く思はれるのだつた、だが 極端な 緊張の後を疲勞と勝利の感激にひたりながら私たちは歸ついた作家の丹羽文雄君を圍んでいま見たばかりの夜の海戰の光景をいろいろと語りあつてゐるうちに丹羽君や記者である泉報道班員とは違つてカメラマンである私はなんと小さなカメラのファインダーの範圍の海戰しか見てゐないのに氣附いた、すなはち最初の魚雷發射から最後の猛火に包まれながら沈んでいつた敵艦までいろいろの場面を見てはゐるのだが私の記憶にあるのは、みなファインダーの枠の中にある光景だけであつた

特選　給油作業　週報光畫聯盟　北原惠恩

食糧増産の尖兵
農會技術員の再訓練

【東京電話】戰時下食糧増産の技術尖兵として全國二萬二千名の農會技術員の使命は、ますく重大となつて來た折から農林省では帝國農會に總經費約四十萬円を助成して全國農會技術員の長期再訓練に乘り出すことになつた、その第一着手としてまづ千葉縣印旛郡公津村および兵庫縣明石郡神出村の二ケ所に農會技術員錬成道場を設け年々二百名づつ全國から優秀技術員を選拔してこの東西両道場に收容し、約一ケ年間にわたり精神ならびに技術の猛訓練を行ひ、講師には農林省はじめ各道府縣の農事試驗場の專門技術官、民間の篤農家などを招いて特に高度農業技術の傳授に力點を置き、素質の向上をはかると同時に千葉縣は十五町歩、兵庫縣は十町歩の農場をそれぐ利用して植付から刈入れ脫穀調製まで一年生に返つて再出發することになつてゐる、目下両道場には着々宿舍その他の諸施設を建設中で十一月一杯にはほぼ完成、年末ごろからは一縣當り四、五名づゝの選ばれた技術員が乘込んで初の長期錬成が開始される

京城卸賣物價　八月中微騰

朝銀調査＝八月中の京城卸賣物價指數（基準昭和十一年々平均）は調査八十品目中騰貴六、低落一、保合七十三で總平均指數一九六、六八％となり前月に比し〇、四％方の微騰を示した、なほ燃料の騰貴は冬季用燃料として薪炭、石炭の需要が増加したためである、內譯左の通り

	八月指數	對前月比數（單位％）（△印減）
穀物	一六七、一三	―
食料品	一八七、五七	〇、一
織物原料	一六五、一四	―
織物	二〇七、〇一	〇、六
建築材料	一八八、二五	―
金屬類	二三九、九五	―
燃料	一八〇、〇七	三、七
肥料	一五一、七九	―
工業藥材	二七九、九七	―
雜品	二五八、四四	△〇、六
總平均	一九六、六八	〇、四

朝鮮農會機構強化
具體的の研究進む

蔬菜その他農産物出荷統制の強化につれ總督府ではこれが一部を擔當する朝鮮農會の機構強化擴充に就て目下具體的研究を進めてゐる朝鮮農會の機構改革については從來農村三團體の調整問題と關聯して研究中であつたが、同問題は關係當局の協議を必要とし急速には進捗出來かねる事情にあるので、この際一應これとは別個に獨自の擴充強化を考慮するに至つたもので、強化擴充の方向としては統制の負擔機關としての活動を完璧ならしめるため事業の増加により財政上の強化をはかるとゝもに、朝鮮農會と道農會との有機的連携を強化し指導統制、調査など戰時下農會の負荷する事業の遂行に萬全を期せんとするものである

『商品規格統一委員會』
愈よ實際的活動へ
委員長には上瀧局長

戰時下資源の節約ならびに低物價政策の確保をはかるため總督府では商品の規格統一を圖つて生產力擴充、國民生活安定に萬全を期することとなりさきに商品規格統一委員會を設置、かねてこれが實際的活動に移すべく委員の任命その他極力準備中であつたが、いよく十月早々第一回委員會を開催することとなつた、しかして第一回委員會の附議事項は

一、朝鮮產廣幅、小幅絹および交織々物
一、朝鮮產廣幅、小幅人絹および交織々物
一、朝鮮產靴下、軍手、軍足、肌衣などメリヤス製品
一、朝鮮釜
一、朝鮮產醫業用藥劑

などで引續き生活、生產用資材など順々規格を統一することとなつてゐる、なほ委員ならびに幹事の顏觸れは次の如くでこのほか臨時委員ならびに專門委員を委員會開催の都度任命する方針である

（委員長）上瀧殖產局長（委員）井坂商工第二課長、角永企畫部第一物資調整課長、小泉物價調整課長、田村朝商理事、瀧谷工協理事（幹事）岡野定殖產局事務官、藤井同技師、泊吉企畫部事務官、淺海事務官、松本殖產局事務官、中試安東技師

經營者絶對陣頭に
×××愈よ來月から×××
生擴戰に一轉機

【東京電話】大日本產業報國會では過般企畫院より發せられた『經營責任者陣頭指揮運動』に關する通牒にもとづき企畫院をはじめ厚生、商工、陸海軍各省および各統制會、鑛業會など關係官廳、團體と協議中であつたが、このほど『經營責任者陣頭指揮運動要綱』を決定、十七日全國道府縣產報ならびに地方鑛山部會宛通牒を發した、右運動の實施期間は來る十月一日より卅一日に至る一ケ月間その範圍は全國道府縣の重要物資生產工場、事業場となつてゐるが、東京では十月一日正午より大東亞會館において、大阪では十月四日新大阪ホテルにおいてそれぐ小泉厚相列席のもとに經營責任者の協議會を開くほか四日大阪中之島公會堂で大東亞戰爭完遂產業報國大講演會を開催する豫定である、同運動實施要領綱に方法はつぎの通り

實施方法

一、陣頭指揮者は當該工場、事業場の社長、重役などの經營責任者とす
一、陣頭指揮者は現場、作業の實情を詳らかに查察し、勤勞者の士氣の昂揚および作業の督勵につとむ
一、查察の期間は一工場、一作業場三日以上
一、查察事項は特に左記の諸點につき留意する
（イ）生產能率を阻害する諸原因を特に勤勞管理の見地より查察
（ロ）生產効率發揚の見地より勞務配置の適否
（ハ）規律訓練の浸透狀態ならびに各級指揮者の部下把握力
（ニ）勤勞力保全の見地より勤勞者の保健狀態、災害狀況、保安施設
（ホ）厚生施設、生活狀態
（ヘ）勤勞の統轄組織ならびに懇談機關の活用狀況
（ト）就業時間、休憩時間および給與に關する制度、教育に關する制度、勤勞管理機構などの整備狀況
本期間中は管理者より狀況聽取を行ふにとゞまらず努めて勤勞者と寢食をともにし、體驗に得る現場實情の認識を深むる
一、組常會
各級懇談會などを開催し、陣頭指揮者は自らこれに出席し上意下達下情上通に努むる
一、查察の結果改善すべき事項はこれを直ちに處理し、研究を要するものについてはこれを懇談會に諮問し、または勤勞管理委員會を設置してこれに改善計畫を樹立せしむ
一、政府に意見を具申する必要あるものについては道府縣產業報國會（または地方鑛山部會）ならびに關係統制會に申達する

實施要領

一、道府縣產業報國會または地方鑛山部會實施事項
（イ）管下各產業報國會の代表者に對し本運動の趣旨徹底をはかる
（ロ）特に政府または大日本產業報國會中央本部に具申する必要あるものについては本運動期間終了後これを取纏め中央本部に申達する
一、單位產業報國實施事項
（イ）經營責任者の陣頭指揮を期とし本運動の趣旨を部隊組織の活動に織込み各級指揮者もまたそれぐ現場查察ならびに士氣の鼓舞につとむる
（ロ）經營責任者または各級指揮者より改善事項につき諮問ありたる場合は組常會または各級懇談會を開催し研究懇談を行ひ改善方策の樹立につとむ
（ハ）本運動の具體的成果を擧ぐるため產業報國會事務局に勤勞管理委員會（假稱）を設け勤勞管理に關する綜合的檢討を行ひ改善方策の樹立につとむる
本委員會は最高指揮者、上級者、教育擔任者などをもつて構成する

世界の祖國日本（完）
三浦一郎

＝天孫降臨以來＝　百七十九萬五千年、神武天皇様が大和の橿原に都をお開きになり、御位に即かせられて以來、今年は二千六百二年になります。

日本の紀元は今日、神武天皇様の即位の御年を以つて起算致してをる爲に、今年は紀元二千六百二年といふ計算になるのでありますが、若し日本の肇國紀元を、天孫降臨に求むるならば、それは實に悠遠な數になります。

神武天皇東征の詔の中に『天祖の降跡より以つて今に至るまで一百七十九萬二千四百七十餘歳』とあります。これによれば、天孫瓊々杵尊様が天壤無窮の神勅を奉じ豐葦原瑞穗國の統治者と降臨ましましてより、神武天皇様が東征に臨はせ給ふまでの間に既に一百七十九萬二千四百七十餘歳の年月を經てゐたといふのであります。この大詔あつて以來七年目に神武天皇様が橿原の宮において御即位遊ばされたのであります。

＝若し日本の＝　紀元を天孫降臨に遡いて計算なさるとすれば即ち次の如くなる譯である。百七十九萬二千四百七十餘歳（十）大詔年（十）二千六百二年＝天孫降臨紀元（百七十九萬五千七十餘年）

然るに今日の博士、教授とかいはれる様な偉い人達はどうしたものか、この『天祖の降跡より以て今に至るまで一百七十九萬二千四百七十餘歳』といふ日本書紀に明記された神武天皇大詔の一節を、後世の僞入なりとして否定してゐるのであります。

今假りに岩波文庫の訓讀日本書紀中巻（黑板勝美編）を繙いて見ると次の如く書いてゐます。『天祖の降跡ましてより以還、今に一百七十九萬二千四百七十餘歳』とあつて、すぐその下に細字を以て二行に『〇もと分注なりしならむ』と書いて あります。加之本文 と特に區別する爲に御丁寧に括弧がしてあります。その他の一般普及本も皆然りで、恰もこの記事を註の如く細字を以て書いてゐるものが多いのであります。

＝然るに＝　印本及び一般通本には『自天祖降跡以逮于今一百七十九萬二千四百七十餘歳』の二十三字は太字を以つて本文に連ねてゐるのであります。

＝抑々＝　此の二十三字を後世の僞入と唱へ、後人の僞造なりと唱へ出した張本人は伴信友であります。又此の二十三字を細字としたのは栗田と神田氏の校本であります。これを又そのまゝ受取つたのが日本書紀通釋の著者飯田武郷氏であります。今日の大學教では大學において此の人達の説を受繼いで此の二十三字を認めない建前を取つてゐる樣であります。水戶公の大日本史ですら、神代は否として削るべからずとして神代史を拔はず 神武天皇樣から書き始めてゐる位だから他は推して知るべきであるが、某博士の如き史に神武天皇より崇神天皇に至るまでの數百年間につき僞作を起したなどは言語道斷といふよりむしろ皇國民としての良心を疑はざるを得ない。又同じく一昨年紀元の皇紀僞書問題を起した某代議士のあつたなどは實に憤慨に堪へないところであります。

天孫降臨以來の日本
悠遠百七十九萬五千年

＝次に＝　一百七十九萬二千四百七十餘歳云々の二十三字を裏書する古文獻について一言したい。それは前項においてすでに觸れた倭姬世紀である。學者は僞書だといつてゐるが、古くから諸書に引用されてをり、又內容そのものが僞書だといふのではないから、群書類從その他にも引用されてをり今日貴重な文獻として國學者の間には珍重されてゐるのである。同紀によれば瓊々杵尊の治世が三十一萬八千五百三十三年、彦火々出見尊の治世は六十三萬七千八百九十二年、鸕鷀草葺不合尊の治世は八十三萬六千三十二年となつてゐる。これを合計すれば一百七十九萬二千四百五十七年となる。これに二十年乃至十數年を加へると恰度前述二十三字の日本書紀に記する所と一致するのである。若し二書共に眞實を傳へるものとすれば、神武天皇樣が鸕鷀草葺不合尊の後をお受けになつてから、前述の東征の大詔を發するまでの間に恰度その二十年乃至十數年の期間が存在したといふことになるのである。

＝日本書紀＝　にいふ『一百七十九萬二千四百七十餘歳』といふのは、天孫瓊々杵尊樣が天降られてから神武天皇樣が日向を御出發遊ばされる時までの年數であり、倭姬世紀に云ふ所は瓊々杵尊、彦火々出見尊、鸕鷀草葺不合尊御三代の治世が一百七十九萬二千四百五十七年といふことなのである。倭姬世紀の方には鸕鷀草葺不合尊から直に神武天皇に至り神武天皇樣が日向を御出發になる迄の年數は加算されてゐないのである。東征の詔を發せられた時天皇は御年四十五歳であらせられたから鸕鷀草葺不合尊の後をお受け遊ばされてからこの時まで相當の期間が存在したことゝ思はれるその年數は恰も書紀に記する年數から世紀に記する年數を控除して殘つた數がそれだと思はれるのである。筆者はこの二書に記する所の記載方法 が斯く異る にも拘らず完全に內容が一致するといふことは銘々以て書紀二十三字の年數の確實性を立證するものとして喜快に堪へないのである。

富士文庫、上記、大中臣文書、眞鳥文書等にも相當長い神代の紀元年數を詳細に書いてゐるが茲に省略する。

井乃香樹氏（井原顯三）の『神武天皇紀』に『史記』の『封書』における數を引いて恰も百七十九萬二千四百七十餘歳の年數は漢書から取つたものであるかの樣に書いてゐるが、その說明は所謂木に竹を繼いだ樣な眞に苦しい說明で牽強に類する附會說以外の何物でもない。

藤澤親雄 氏の近著『世紀の指標』に次の如き注目すべきことが書いてゐる。

『日本書紀神武天皇紀は、『天祖の降りましてよりこのかた今に一百七十 九萬二千四百 七十歳』と記してゐる。然るに多くの僞學者は、今迄これを荒唐なる上代の觀念的空想的所產であるとして片づけて來た。併し、果して然るかどうかは大いに研究せねばならぬことである。最近における神代文化研究の結果、書紀のこの記述を裏書きするが如き事實が續々と現はれつゝある。……これによると皇國は、事實として世界人類の大祖國であつたのである云々』と。

京織京染商組創立
理事長に上田兵三郎氏選任

京城織物業者を打つて一丸としこれが業者商業の改良發達をはかる京畿道京染商業組合創立總會は十七日午前九時半から京城南大門通金千代會館で開催、初代理事長に上田兵三郎、常務理事に佐藤寅郎両氏をそれぐ選任した、事業計畫左の通り

一、組合員のため京染見本、白生地など必要なるもの共同仕入れをなすとともに仕入斡旋品に對しては仕入金額の三パーセント以內の手數を徴收す
一、組合員染物の請負をなし其再移出入を行はんとするときはすべて組合に委託するが一點につき供託品四十五錢、古反物三十錢、古端切十五錢づゝの手數料を徴收するほか、染物請負價格の協定など營業に關する統制を行ふ
一、資金の貸付その他營業に關する指導研究をなすとゝもに不用死藏品の利用更生に關する普及宣傳を行ひ資源愛護の觀念を昂揚する

內鮮人絹取引　圓滑化を懇談

朝鮮スフ人絹綿糸布卸商同盟會で、內地中配代行會社朝鮮連絡擔當者辻新三郎氏の來鮮を機として十八日午前十一時より半島ホテルに同氏を中心とする懇談會を開催、主催者側より山本東棉、中瀬又一、高森江商京城支店長ほか業者代表ら出席し、內地對半島の今後における人絹取引の圓滑化について種々懇談を行つた

預金減貸出増　組銀月央帳尻

京城手形交換所調査＝本月央現在の京城組銀預金貸出帳尻は預金総額七億六千八百八十二萬八千円にして前月末に比し二千八百十五萬三千円の減、前年同期比一億九千八百卅萬一千円の増加、一方貸出総額は十億二千五百廿萬一千円にして前月比九千一萬六千円、前年同期比一億三千七百廿九萬三千円のそれぐ増加を示した、內譯左の通り（單位千円、△印減）

△預金

種別	本月央	前月末比
定期預金	四〇六、四〇三	△六、四六八
當座預金	一二六、三四三	△一〇、六〇八
特別當座	四〇、六六二	△三、二〇七
通知預金	一〇五、一五三	四、七〇九
諸預金	一五五、六六九	△三、二八〇
合計	七六八、八二八	△二八、一五三

△貸出

種別	本月央	前月末比
證書貸	二二、九八八	△二〇
手形貸	八八六、二二六	三、四三一
當座貸越	五九、三二二	△二、四九九
割引手形	八一、〇三三	一、七三三
荷爲手形	五五、七一九	△一、八二三
合計	一、〇二五、二〇一	九〇、〇一六

纖維輸出組合　廿八日創立總會

半島の纖維輸出業者を網羅する朝鮮纖維輸出組合結成については東亞貿易、朝鮮織物輸出組合、三井物產、東綿、日綿、又一、坂野合名、共榮商會等各團體代表者が設立發起人となり準備を進めて來たがこのほど成案成る廿八日午後二時から京城南大門通り金千代會館で創立總會を開く段取りとなつた、同組合は生系、人絹、綿布、人絹布、絹布、布用製品など六部を設け各組合員は自己の有する實績商品別に從び各部に所屬することになつてゐる

西松組支店次長　井口泰吉氏就任

西松組では友原繁氏の西頭水事務所長轉出にともない左の如く幹部級の異動を行つたが京城支店次長には監査役井口泰吉氏が就任した

監査役　井口泰吉　京城支店次長へ
取締役京城支店長代理　友原繁　工事主任兼西頭水事務所長へ
取締役水豐事務所長　小林光鐵　票鎮出張所長兼務へ

大漁船に犒ひの辯 學童の辨當にも親心

小磯總督視察行三日目

【安東にて井上特派員發】國境視察第三日目、今日も小磯總督を乘せた國北一〇〇號は午前七時卅分國境の宿舍を出發、國境街道をひた走りに走る、東海岸の漁港湖頭に着いたのが九時少しまへ、早速頭日郡廳、漁業組合を訪れて管內狀況を熱心に聽取、續いて水産試驗場へ向ふ、こゝで總督は鰊網や孵化施設を見て廻つてから入口に整列した練習生に向つて

〝魚は君達に捕れるのを待つてゐるんだから大いに勉強して澤山捕つて下さい〟

と激勵の言葉を送つてから近に附近の漁業組合工場に入り込み鰊詰製造作業を具さに觀察

〝これはなんだ、なに鰊罐、魚の罐詰ボー隨分澤山あるね〟

と山のやうに積まれた製品を見て物凄い増産ぶりにすつかり感心、作業員の健闘を祈つて工場を後にした、此處から車は日本海を右に見て南へ南へ向け走り續ける、途中またも國民學校の前に來ると車を停めてのこのこと校舍の中に入つて行つた、此處では授業中の兒童達に向つて〝辨當を持つて來ない人がゐるか〟

と訊ね

〝ありません〟

兒童達が元氣よく答へるとすつかり安心し

〝皆さんはいま何のために勉強をしてゐるのですか〟

と優しく問ひかける、それに答へて一人の兒童が

〝天皇陛下に忠義を盡すためです〟

と上手な國語で答へれば

〝さうです、その精神を磨くためですね、ではしつかり勉強して下さい、さやうなら〟

とわが子を諭すやうな親みのある言葉を殘して學校を後にしたが出口で校長をとらへ［illegible］くやうに

〝米の配給が少いために辨當を持つて來ない兒童があるならば上司に申し出て下さい〟

と兒童を案じて慈愛溢れる激勵を見せたのであつた、それより總督は車を走らせること一時間、江口に至り漁場を視察、突堤に立つていましも荒波をのり切つて〝祝大漁〟の旗を押し立て威勢よく入つてきた鰯船の漁船を近づけ舟にのり込み漁夫たちに

〝やー、ご苦勞さま、ずゐぶん澤山獲れたね〟

と大漁の鰯を掬ひながら生簀に泳いでゐる魚を覗きこんで

〝鰯はなかなか育ちがいゝね〟

とほめる、かくて漁場をあとにした總督は正午盤德着、郡廳を訪問したのち安東に向ふこゝより京義線で歸任の途についた

〝明答なし〟と明答 田中總監釜山で語る

【釜山にて岡林特派員發】初東上その日の釜山の朝は爽かな色だつた、あれから丁度一ケ月田中總監を迎へた十八日の夜はしつとりと濡れて重く釜山の港には初秋の風が吹いてゐた、初めて眼がカチ合つた時には緊しまつた顏の總監だけに思はず聲の出ない聲で〝總監御苦勞樣〟といはずにをられないほど身體が熱いものに包まれた、首を縱に身體を運りくく歩いてゆく總監の足どりは少しも疲つてゐない、それでもその顏面だけには幾分の痩せ氣味を見逃せないのだ

最後は慮められ通しであつただめ總監がボーツとなり諸君にも明言が與へられないのは氣の毒だと初めて顏を崩して例の子供つぽい青年總監に返り職識を交へて味噌つ齒を露はに笑つた時は、われくも我が家に歸り來つた總監の寛ぎを共に感じ得たのである

そして〝實に愉勞したよ〟と繰返す總監の顏には何處にも鬱に立つた時の暗くな影は無かつた、九時一大きな決意を秘めて總督との面談を急ぐ總監は北上した

各大學の職員 朝鮮視察派遣

朝鮮人學生の教育には先づ朝鮮の實情を識らねばならないーと朝鮮獎學會では朝鮮人學生を多數收容する慶應、早稻田、明治、日本、駒澤、東洋、立教など內地十三大學の職員十三名を以て朝鮮視察團を組織、九月廿六日から約二週間の豫定で次の如く各地を視察、朝鮮人學生の保護指導に萬全を期すこととなつた

九月廿六日東京發、同廿八日佛國寺、同廿九日慶州、同卅日京城、十月三日仁川、同四日平壤、五日咸興、六日元山、七日［illegible］剛、九日釜山離鮮

一突必殺 燃ゆる鬪志 精鋭すぐる國技大會

爽涼の秋風を截つて十八日朝京城運動場に結成大會を擧行した銃劍道振興會京城聯合支部の記念銃劍大會は浩氣と闘志とを競けて同日午後一時から火蓋をきつた、京城をはじめ遠く平壤、大邱、光州から馳せ參じた鄕軍部隊、青訓、專門、中等兩校の四隊に分れて國民武道たる銃劍道の極致を競つた、銃後若人の氣合は初秋の空に力強く谺して一突必殺の熱血に猛りたつ時に法專、城東中、大邱鄕軍の群を拔く熱技は觀衆を始め觀場の觀衆を感激させた、かくて午後五時全競技を滯りなく終了、閉會式に入り賞品及び賞狀を授與、聯合支部長高村京城師團兵務部長の大會講評があつて萬歲を奉唱、こゝに白兵戰そのまゝの大會の幕をとぢた、記録次の通り

◇中等の部 1山本國雄（城東）九人拔2川谷淺郎（城東）六人拔3近藤壽宏（京農）六人拔4山本明彦（城東）5大崎直二（京農）

◇專門の部 1田仲義郎（法專）十人拔2岸川正已（法專）九人拔3桑島英信（法專）六人拔4曾根清孝（醫專）5原武司（醫專）

◇青訓の部 1山內盛［illegible］山）八人拔2園田諭吉［illegible］3岡本正治（京城）四人拔［illegible］5手島繁吉［illegible］原清治（京城）［illegible］

◇鄕軍の部 1田代英夫（京城）2架村［illegible］（平壤）3福重嘉一（平壤）［illegible］長野榮［illegible］6菊池讓（平壤）［illegible］以上1、吉井喜三郎（平壤）2

［illegible］民族資料としては最高のものだと注目を惹いてゐる

迫害に應ふ精進 ガンヂーの心友行昇師とは

【昭南十七日同盟】ガンヂー翁が日本への〝遺言〟を託した天行昇師とは一體如何なる人であろ、昭和七年同師は上海妙法寺住職として渡航したが、昭和八年上海事變の契機となつた大山大尉事件の直前同師は他の同僚とゝもに支那兵の暴行をうけ瀕死の重態に陷つたが超人的な精神力で死を克服し生命を取り止めた、藤井行勝師が昭和九年印度を去るにあたつて後繼者として呼ばれたのがこの行昇師である

ワルダ道場の賓客となつた同師は布教と祈禱の修業の中に自己を沒入した、上海で生死の境地を脱却した同師の敬虔な生活ぶりは次第に他の塾生たちの信望を集めてゆきガンヂーの信頼は日一日と昂つていつた、自由印度のため身命を賭して悲壯な闘爭を續けながらも絶えず、無の境地、崇高なる宗教的境地に入らんとするガンヂー翁とたゞ一むに法華經を念じながら不斷の精進をつゞける行昇師と二人の精神は次第に接近して行つた、日夜絶えずガンヂー翁の身邊にある同師はその間ガンヂー夫人、秘書あるひは道場の青年たちに對して日本の眞意說得に努めたのはもちろんである

しかし大東亞戰爭により二人の間に別離のときが來た、かうした別離のの心友行昇師を忘れかねたガンヂー翁は同氏が抑留されたと聞くや英當局に對して釋放運動を行つたが許されなかつたといはれる、行昇師は抑留以來記者と隣合せのキヤンプに收容されたが朝夕師が打ち鳴らす法華太鼓の音は東洋的な神秘な響をもつてすべての邦人抑留者の胸を打つた、記者らが印度を引揚げるときまだ默々としてキヤンプの中に留まつてゐた、記者が別れの挨拶を述べると『私は最後までガンヂー翁の國に殘ります』と只一言ぽつつりと述べた

故迫間房太郎氏 從六位贈らる

［illegible］で單身釜山に上陸した、それよ［illegible］

羽搏く二百卌五機 航空日に晴の献納機命名式

［illegible］ことである、なほ支那事變以來の献納報國號飛行機數は海軍九百三十二機といふ膨大數に達してゐるが海軍當局は從來同樣献納機の機體に報國番號と名稱を表示して萬一破壞した場合でもその機が存する限り同號の新しい飛行機を造つて献納者の赤心に報ゆることにしてゐる

皇軍を神樣扱ひ 王侯も日本崇拜の棉作適地

南方を語る 農林局 千田技師

棉花調査班の一員に加はつた總督府農林局技師千田［illegible］氏は北セレベス、小スンダ列島四ケ月の旅から本月八日無事歸任、十七日南方灼けの逞しい顏を總督府に現はした 千田技師は五月十八日內地出發、北セレベスのペンダリー半島及び小スンダ列島中のベリ、ロンボツク、スンバワ、フロレス、スンバ五島に亘り棉花耕作の見地から氣候、風土、民情、勞力、耕作程度を視て來た人、以下は氏の語る南海の香りも高い現地報告である【寫眞＝語る千田技師】

仕事の話を先に申しあげると北セレベス、小スンダ列島は共に棉花栽培には有望であるとの結論を得た、現地は北セレベスが椰子、南セレベスがたうもろこし、小スンダ列島はベリ、ロンボツクが米、他は産業らしいものもない、農業としては稻が年一回、裏作としては芋、たうもろこし、豆などを作つてゐる、水田は蘭印政府が指導したのだが、灌漑施設のあるところは蘭印式によく、その他は水田があるといふ程度だ、民情としてはミナハサ人は知識も技術もあり容貌は日本人そつくりで、その治安も內地と少しも變らず何處を歩いても內地農村を歩いてゐるやうな感じだ

快報 コレヒドール陷落の快報を行きがけの船中で聞いた、私たちの船はマニラ入港最初の商船になつたわけだ、珊瑚海海戰は船中でソロモン海戰の大捷はマカツサルで聞いた、原住民は勝報の到る每に〝日本がまた勝つた、勝つのが必然〟といつた工合で、この邊も日本人の感情そのまゝだ、あちらの王侯たちは日本必勝の信念を持つてゐる、インドネシヤ人は日本人に對して絶對的に依賴の念を持つてゐる、これは日露戰爭以來のもので東洋人が初めて西洋人を擊碎したといふわけだ

王侯の中には大東亞戰爭後

蘭印 政府に欺かれて慘まれ遂に五月十四日死刑に處せられるのがゐた、ところが死刑前日の十三日わが日本の敵前上陸が敢行され蘭印政府は死刑執行どころか皇軍の鋒鋩を避ぐのに精一杯といふことになつたなどの痛快な話もある、だから王侯たちは日本軍を神の如く信じ敬つてゐる、〝蘭印政府はわれわれを日本軍の楯に使つた、然し日本軍はわれわれの生命財産を保護してくれる爲に來た神兵だ、われわれにも軍事訓練を授けて欲しい、そして米英軍が來たらわれわれが

擊滅 するのだ〟と軍當局に申出てゐるといふ、蘭印政府は〝日本落下傘兵がやつて來てお前達を虐殺する〟と宣傳してゐたものだが［illegible］さには現住民も驚嘆したらしい何處に行つても日本語で〝オハヨー〟〝コンニチワ〟と云はれるので嬉しかつた、メナドの奧地に入つた時、そこの村長が私たちを歡迎しようといふので耕作中の農民を集めて太平洋行進曲、愛國行進曲、愛馬行進曲などを上手に歌つて聞かせて呉れた、全く嬉し涙が出た、殊に愛馬行進曲は〝雨を愛する唄〟として現地の子供たちまでが非常に上手に歌つてゐた

北鎮の強者鍛ふ

北鎮の強者堂々の構へ、この國軍の重厚堅陣はソ聯に對する建國十年日本教練の熱血はその滿洲の魂に精神に立派に訓練されてゐる、だから日滿共榮の兄弟なのだ、その地の赤い夕日それは日本の戰跡の太陽であり、また滿洲國安泰の表徴である【寫眞＝銃劍術に勵む滿洲國軍】

國語問題を岡部子に訊く 嚴たる觀點に立て 猪突整理は徒に混亂

猪突な國語の整理はいたづらに國語を混亂さすものだと國語平易化運動の行き方に反對の意を表して國語審議會を脱會した國際文化振興會副會長、元國語審議會委員岡部長景子爵は過日北京で開かれた第六回文化協議會總會に評議員として出席の歸途十八日京城に立ち寄り朝鮮ホテルに投宿したが、共榮圏文化を繞つて進められる國語整理の問題點に文化協議會の論點などについて次の如く語つた【寫眞＝岡部子爵】

漢字制限とか字音假名遣ひとか字體の整理、左書きなど複雜すぎる國語の整理には多くの問題がある、然し何らそれは〝蝶〟を〝てふ〟と書くか〝ちやう〟と書くかに問題があるのではなく、それらのことは〝蝶〟といふ字を覺えることによつて一度に解決することだと私は思つてゐる、私は〝讀む字〟と〝書く字〟とを區別し、區別することによつて〝蝶〟といふ字を幼學年から一度に教へよといふのだ、教へてみたまへ、我々が〝蝶〟といふ字を知つてからそれを一度でも〝てふ〟と書き現したことがあるかね、不必要なことのために幼い者の頭腦を疲れさすのはいけないといふのだ、國語審議會は國語を弄び過ぎる、國語を整理しようとして却つて國語を混亂さすものだ、殊に南方民族の理解を便宜にするためなどといふ安直な觀點から、わが傳統の國語が簡單に整理されていいなどといふ理由は毛頭ない、一國の國語とはそのやうな便利主義の上に立つものではないのだ、文字の國支那を見給へ、四千年の歷史の中に一度だつて外國語をそのまま使つたことがあるかね、他山の石とすべきものがあると思ふ、一時の思ひつきでうつかり手を着けようものなら大變なことになるよ、北京の協議會では共榮精神による政治の刷新、文化の保存、學術語の統一などに就いて論議された、やがて遠からず具體的な方策が講じられると思ふ

なほ子爵は十九日午前十一時廿分京城發扶餘に向ふ

名乘り出よ 從軍功勞者

支那事變に從軍し功績者として行賞せらるゝ者の中左記四氏の住所不明のため賞揚物件交付出來ないため十八日府總務課秘書係で心當りの向は至急通知あるやう希望してゐる

現住所竹添町一ノ九〇岡本正吾、本籍地竹添町三ノ二七二金晋華、同蓬萊町三ノ一〇五韓壽鳳、同新堂町九五ノ三六鄭振海

張切る再出發 引揚邦人懷しの昭南港へ

【昭南十七日同盟】昭南で交換船龍田丸より下船直ちに南方第一線の戰士として昭南、マレー、ビルマで働くこととなつた五百五十六名の引揚邦人は十七日午前上陸懷しい昭南の地に復歸の第一歩を印し、昭南特別市係官の案內で武威山、筑紫山などの戰跡を見學、筑紫山の上から往年のケツペル兵營を見下し『以前われく日本人はこの高地には一歩も登ることを許されなかつたのです』と明るく一變した昭南の全市をしみぐと眺め記念碑の背後に立てられた戰殁勇士の慰靈標の前に全員溢れ出る涙とともに遙拜をなした、ついで係員の指示によつて翌日本人小學校その他數ケ所の所定宿舍に引きとり配布された職業復歸希望書にそれぐの希望を書込んだ、かくて百數十名の即時事業復歸者をはじめ自家營業者、官廳、商社勤務者など近く各自の職業が決定されるわけで全員非常な張切り方である

商船の齋藤氏 龍田丸で歸る

【東京電話】日英第二回目の交換船龍田丸は祖國日本に歸る邦人四百名を乘せ一路歸國の途にあるが、この船の中には大阪商船京城支店長だつた齋藤保次氏がある、齋藤氏は一昨年京城支店から風雲たゞならぬシンガポールへ赴任、大東亞戰勃發と同時に抑留されボンベイ方面に送られたまゝ消息を絶つてゐた

三浦翁壯途に就く

【東京電話】滿洲建國十周年を壽ぐ日滿首都東京—新京間を走破するわがマラソン界の元老三浦彌平氏（［illegible］）は十八日午前九時宮城遙拜後二重橋前から純白のユニフオームも颯爽と新京をめざし晴れの壯途に就いた

果實商の強盜捕る

去る十五日午前四時頃敦岩町五〇果物商金正泰方に押入り時計一箇現金十円を強奪した二人組の強盜は各署で搜査中、十七日午後四時阿峴町百十番地廣信號質屋方に時計を入質にきた京畿道漣川郡積城面生れ（住所不定）前科一犯趙興龍（［illegible］）を容疑者と睨み龍山署員が大格鬪の後逮に捕縛身柄は東大門署に護送、共犯は黃海道安岳郡大還面生れ前科一犯李成萬（［illegible］）である

鐵道記念日 弔魂碑前で式典

鐵道記念日の十八日鮮鐵では記念式に引續き龍山公園弔魂碑前で午前十時から第廿八回弔魂祭を執行した、この日遺族三百餘名、鐵道局員約二百名參列京城神社神職により修祓、招神詞に合祀があつて奏樂のうちに獻饌、祭主祝詞奏上、次で祭主山田局長の祭文奏上あり奏樂に次いで弔魂祭の歌を奉唱、祭主玉串奉奠に次いで山田局長初め遺族總代佐藤千壽氏、高等官代表江崎建設課長、判任官代表坂勇氏等の玉串奉奠あり、再び起る奏樂裡に撤饌、昇神あり同十時四十分一同退下祭儀を終つた

パレンバン攻略の講演會

朝鮮國防航空協會本部では第三回航空日を一層意義づけるため陸軍航空本部から派遣された西部一二七部隊後藤末四郎大尉を招聘〝パレンバン挺身作戰に參加して〟と題し十九日午後一時から長谷川町公會堂で講演會を開くことになつた、大東亞戰下航空日本の猛威を世界に示したわが荒鷲の華々の戰果の裏に秘められた戰訓、殊にわが空軍最初の落下傘部隊活躍が語られるはずである

夕刊
京城日報

降雪のコーカサスに獨、更に新作戰展開か
進撃俄かに活潑化す

【イスタンブール十八日同盟】スターリングラード市の危機が益々に增大する折柄トルコ國境方面よりの情報によれば、獨軍のコーカサス進撃はこの數日間俄に活潑となつてゐる、すなはち獨軍はグローズヌイを目ざして進撃を開始したといはれさらにノボロシースク地區においてもさきにツルチ海峽渡航に成功した獨軍部隊は黑海に沿ひ進撃の態勢を整へてゐる、モスコー情報はすでにコーカサス方面に降雪を見たと報じコーカサス國境全域にわたり昨年同様早くも冬が訪れたと報じてゐるが、北部ならびに南部コーカサスとも降雪にも拘らず獨軍は一擧に奔下してゐない模樣でこの方面の戰鬪は近く新展開を見せるものとして注目されてゐる

十字路毎に屍の山
有史以來の大市街戰

スターリングラード陷落目睫

【リスボン十七日同盟】廿五ケ師四十五萬の大軍を擁して北西部からスターリングラード市内に突入した獨軍の市内掃蕩戰は過去廿四時間によく機動の度を加へ、建物といふ建物、十字路といふ十字路を強固な陣地化し血腥い大市街戰を展開中である、ユーピーモスコー電によれば、特に一街路における戰鬪は悽慘を極め、赤軍は屋根裏や地下室の小窓を銃眼として必死の抵抗を試み、獨軍が一家屋を占領するに数時間を要するのみならず、獨軍降下部隊により家屋を爆破されたのちも生き残つた赤軍將兵は屍壘を急造したり、近くの街路の蔭に匍ひよつて血まみれの抵抗を試みてゐるといはれ、北方同市南部および南西部の赤軍は郊外地區を最後の一線として死物狂ひに獨軍の進撃を喰ひ止めてゐる模様だが獨軍側が壓倒的優勢を持する獨軍の猛攻により崩壊寸前にあるもの〻如く獨軍によるスターリングラード市完全占領は今や全く目睫の間に迫つてゐる

内閣辭令【十七日】

【東京電話】正三位勳二等　青木一男
依願外務省外交顧問被免
大藏事務官　正六位　赤松[illegible]
兼任國務大臣秘書官（五）
企劃院調査官兼内閣總理大臣秘書官
外務大臣秘書官
兼外務大臣秘書官

一路スターリングラードに迫る獨機械化部隊

臺灣罹災民に御内帑金

【東京電話】天皇、皇后兩陛下には先般臺灣地方に災害ありたる趣き聞召され、罹災民御救恤の思召をもつて十八日御内帑金一封を下賜の御沙汰あらせられ松平宮相よりそれぞれ傳達した

朝香宮殿下　下總療養所御視察

【千葉電話】軍人援護會總裁朝香大將宮殿下には十八日午前十時卅分千葉縣千葉郡[illegible]村の[illegible]傷痍軍人下總療養所に御成りあそばされ同所の諸施設ならびに[illegible]の作業などを御視察の御のち同所御發御歸還あそばされた　御晝食を召され午後[illegible]時二十分

大東亞省
設置準備完了
諸費一千二百七十四萬餘圓
第二豫備金から支出

【東京電話】大東亞省の設立については去る一日の閣議においてその要綱を決定し、爾來これが設置に關する萬般の準備を進め去る十五日の閣議においては早くも大東亞省官制案の決定を見るに至つたが、十八日の閣議において大東亞省設置に關する諸經費として第二豫備金より一千二百七十四萬八千圓を支出するに決定、こゝに大東亞省設立の一切の準備は完了、來る十月一日の開省を待つばかりとなつた

【東京電話】大東亞省設置諸費は一千二百七十四萬八千円とし第二豫備金より支出することに閣議で決定したが、この内譯は左の如くである（單位千円）

項目	金額
本省經費	六五九
在外公館費	三、二七六
諸支出金	三六
營繕費	二〇八
補助費（關係團體）六二、七一六	
移植民及海外拓殖費	五九一
臨時家族手當	四七八
行賞諸費	五
在勤俸その他臨時增給	一五
臨時外政施設諸費	四、一三九

電力規正案
けふ午後發表

【東京電話】十八日の定例閣議において寺島遞相は冬季電力規正に關し詳細報告〔急激な規正は避ける方針であるが、各方面においても無駄使ひをしないやうに徹底されたい〕と要望し正午散會した、同日午後三時遞信省から詳細發表される

定例閣議

【東京電話】十八日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開催、東條首相以下各閣僚出席、湯澤内相より去る六日より十一日まで行つた災害地方視察に關し詳細報告、ついで八田鐵相、井野農林各大臣よりそれぞれこれに關し説明あり、災害復舊對策に關し隔意なき意見を交換、最後に冬季電力規正につき寺島遞相より報告[illegible]

國府經濟顧問
石渡、河田の兩氏有力

【東京電話】國民政府經濟顧問青木一男氏の國務大臣就任にともなふ後任に關しては國民政府においても國政府の意向をも參酌、慎重人選を進めてゐるが、國民政府の財政經濟を一段と育成強化すべき現段階に對應し新財政顧問には第一流人物の起用が必要とされ目下その有力候補として元藏相石渡莊太郎、前藏相河田烈の兩氏があげられてゐる

頽勢に喘ぐ英の實情
屬邦次第に遊離
本國に對し債權國化

【昭南龍田丸にて十七日同盟】英國の現状はどうか、軍事的、政治的、經濟的に眺めた英國の實情を報告しよう

英本國陸軍

は本國に約百八十萬、中東方面二百三十五萬、機甲部隊は中東方面を併せて五個師、戰車數三千台と推定される、戰車の月產は一千台乃至一千五百台見當である、空軍は昨秋チヤーチルがドイツと對等になつたと誇語したが、現在第一線機約一萬、飛行機の月產二千乃至二千五百とみられる、空軍兵力は百萬乃至百二十萬であらう、以上のごとく英國は獨ソ戰の間隙に乘じその大工業力を利用して陸軍と空軍はダンケルク直後に比しまさに隔世の感ある進歩を遂げたが、國防の核心たる海軍力はわが國の參戰とその未曾有の戰果によつてバランスを破られ國防上最大の脅威を感じてゐる、海軍の損失は英國にとつて取返し得ない打撃である、船舶撃沈状況は昨年六月以後發表を停止してゐるが、非常な危機に直面してゐることは政府でも認めてゐる、本年五月末英帝國の保有する千トン以上の船舶は一千七百萬トンと推定されるがうち三百萬トンは軍用で二百萬トンは自治領、殖民地用とすれば英本國の使用するものは約一千二百萬トンとなる、しかして迂回航路の輸送、船舶による航行にもとづく能率低下を六百萬トンとみれば實際能力は平時の約六百萬トンにしか當らない、積載貨物トン數をその三割五分增とし大岸を一年五往復として計算すれば輸送能力は一年約四千萬トンとなるが、專門家筋では大西洋西岸の撃沈トン數は米英が大潛水艦戰術に熟達して來た結果今後かなり減少し輸送能力は增大するものと豫想され、米國の造船能力增大と相俟つて結局通商破壊戰のみで英國を屈伏させることは困難だらうとの見方が有力である

食糧品の割當

は順次擴張されて來たが、國内貯藏も相當ある模様でありまだ〳〵切詰め得る餘裕ありとみられるから半年や一年で英國民が飢死するなど考へるのは見當違ひである、戰前本國の政府支出は十億ポンド見當だつたが、開戰後逐次增加し本年度は五十二億ポンドと飛躍的に增加した、他方國民所得は一九三八年の四十六億に對し一九四一年は六十二億ポンドに增加したに過ぎない、從來は不足の大きな部分を在外投資の消耗によつて補つて來たが、在外投資約四十億ポンドの六割はすでに消費されあとはラテンアメリカに對する投資が大部分で處分は簡單でない、從つて今後國民の消費を一層削減し國民生活の水準を低下させるほかに道はなからう、ただ問題は國民がどこまでこれに耐へ得るかである、つぎにインフレの問題だが、その兆は充分にあるが政府が物資を統制し配給制を行つてゐるため一般的な暴動が起る餘地なく現在悪性インフレの兆候は見えない

平和產業の

大部分はすでに軍需工業へ轉換され、その點よほど緩慢でしかも軍部各省間の優先爭ひ、人力動員と軍需部の行政が統合されてゐないことが禍ひして軍需動員はまだ完成の域に達してゐない、開戰以來軍需工業その他の國家勞務に服する女子の數は百五十萬增加したといはれるが、失業者の再就業百四十萬を加へても男子の應召ならびに軍需工業の勞力の要求增大にもとづく人力不足を補ひ得ないだらう、英國の米國家の強制權行使が次第に擴張されざるを得ないだらう、英國の米國現在女子勞働力動員のため今後英國は現在米國に依存する事態から離脱しようとしてゐるが、西國間には政治經濟的に將來の相剋を内包する幾多の問題が介在してゐる、國民は政治的には次第に本國から遊離し經濟的にも獨立せんとしつゝある、ことにカナダ、印度、南阿聯邦などのポンド資金はロンドンへ蓄積され、本國に對し債權國

英ソ關係は

に變らうとしてゐる、この傾勢は今後益テンポに進展すべくいづれにしても大英帝國の存在はすでに終焉を告げたと斷定することが出來る、他方

表面的には緊密なるごとくであるが兩國はもとく水と油のごときもので兩國關係に幾多の陰影のあるとは蔽ひ難い、第二戰線問題とともに英ソ關係の推移は注目すべきである、チヤーチルが失敗に失敗を重ねながらなほ命脈を保つてゐる所以は前大戰當時のごとくアスキスに代るロイドジョージがないことである、またルーズベルトと併立する動かし難い支柱となつてゐるからである、彼が去るときは英國の危いときであり英國の資本主義、貴族政治の亡びる時であらう、以上英國の現状を概説したが英米合體の實力は侮り難いものであり帝國は百年不敗の地歩を獲得したとはいへ油斷は絶對禁物である

龍田丸一路横濱へ

【昭南十八日同盟】去る十六日午後昭南に碇泊の日英交換船龍田丸は十八日正午埠頭に立ち並ぶ多數見送人達の萬歳、さよならの叫びの中に歸還の喜び溢れる引揚げ人らを乘せて靜かに出帆した、なほ同船は本月下旬には横濱に入港する豫定

東京事務所を擴充
聯盟には東京から人物移入
田中總監下關で語る

【下關電話】要務打合せのため東上中であつた田中政務總監は十七日夜九時五分下關驛着、山陽ホテルに投宿したが、記者團と會見左の如く語つた

行政機構の簡素化が先行したので今回の拓務省廢止に直接關聯しての總督府の機構改革は行はぬ方針だ、行政機構の簡素化は内地に準じて[illegible]が厚生局、企畫部の廢止は決定した、朝鮮も拓務省廢止とともに内務省の管轄下に入つたが、これは前例のないことではない、すなはち大正二年より同六年まで寺内總督時代にその前例があり、その管轄は移行したが、これは形式的だけで實質的には從來と變らぬ、内地と總督府との連絡は各省個々に行はず、内務省連絡委員を通じて行へとの私の主張が容れられた、總督府の東京事務所はこれを擴大強化し中央との連絡事務の煩瑣を防ぐつもりだ、總力聯盟の改組は内鮮兩地から有力な民間の適格者を選ぶつもりで東京から相當の人物が來る豫定だ、從來總督府の局長を聯盟の部長に當てゝゐたがこれを廢止する、地方組織は目下のところ現狀で行く考へだ、ただ各道の總力課に就てはなんとか考慮するつもりだ、殺到する南方問題は中央の諒解を得着々準備中である、南方進出は我總督府としては北方に使命があるのだから之は行はぬが南方行きの希望者があれば之に應ずるつもりだ、しかしそれには限度があらう、食糧對策は來年度には内外地を一貫した根本的な計畫が樹立されるはずで從來内地に移出した朝鮮に今後不足のものがあるから内地から移入して貰ふやうに農林省の諒解を得て來た

思想戰と宣傳戰
牧洋

近代戰が煎じつめれば思想戰であるといふことは、敢に武力の勝利が眞に最後の勝利を意味するものでないからである。第一次世界大戰におけるドイツの敗北は、この例の尤なるものであるが、彼のルーデンドルフ將軍もその自叙の中で『世界大戰にドイツが敗れたのは、余自身の責任であるといふよりも、寧ろ社會主義者國民のせゐである』といつてゐる如く、戰後における社會主義的な敗北主義思想に反戰思想によつて、遂に武力の勝利を水泡に歸せしめたのであつた。殊に今次の大東亞戰爭は、そもそもの發端から[illegible]して我と彼の世界觀の爭ひ即ち、新秩序と舊秩序の思想的たゝかひであるのだ。敵はマレーのゴムの石油ほしさに、[illegible]を得たさに戰ふいくさでない故に、米英を東亞の天地から驅逐した丈けで、この戰爭は[illegible]の美をさめたりとはいひ難い。先づ一億國民の腦裏の中に巣喰つてゐる米英を徹底的に驅逐し更に、全アジヤ民衆に浸透せる米英的思想をば、最後の一滴まで清掃せられざる限り、我々の戰ひは終らぬのである。

私は寡聞にしてか、他の何れの民族よりも疊壓的なる日本人が、米英人が民主主義を謳歌する如く熱烈に、且つ組織的に、日本精神を讃美し、且つこれを思想戰にまで展開しつゝあるかどうかを知らない。例へば米國においては有數なる學者文人などが、長い年月を賭して民主主義の讃美と宣傳に努めてゐる有様である。これらの影響ははげに大きく無智なる大衆まで民主主義擁護のためには、一命を擲つことを名譽とするに至るのである。東亞共榮圈には多數の民族が包括されるのであるが、これら諸民族をして以て日本を眞に盟主と仰がしめるには、敵なる一時的の政略工作に止まることなく、思想的にまで深く浸込む何ものがを與へねばならぬ。宣傳戰は思想戰の謂歩的段階であつて、無論それ自身大切であるが、それが眞實を裏づけとして伴はない限り場合によつては逆効果をもたらす事すらあるのである。永久的なる眞實の宣傳工作、これが思想戰であつて、特に、我々文筆に携はる者、その責任の大なるを痛感する次第である。（筆者は朝鮮文人協會常務幹事）

泰内閣制度の改革斷行せん

【バンコツク十七日同盟】泰國政府は時局の進展にともなふ政務多端に備へるため近く内閣制度の改革を斷行することとなつたが、同時に首相補佐大臣が任命されるはずである

物足らぬ感がある
一層生產增產、戰力增強の要
鎭海警備府司令長官 後藤中將着任談

【釜山電話】新任鎭海警備府司令長官後藤英次海軍中將は十八日朝釜山上陸着任したが、鐵道ホテルで少憩中次の如く語つた

朝鮮にはたまに來たこともあり、鎭海には十數年前米内さんが要港部司令官當時一度來たことがあるが、勤務するのは初めてだ、私は大尉になつて後といふものは陸上を知らず、ずつと海上勤務ばかりで先般南方の一線から歸還したが、一線と銃後が表裏一體となつてこの長期戰を勝ち拔かねばならぬのにある點では努力の足らぬところもあるやうに感ずる

戰爭は新聞に發表されて

ジヤワ 復興ほゞ完成
兒玉顧問、西貢で語る

【サイゴン十八日同盟】ジヤワ方面軍政最高顧問兒玉秀雄伯は去る四月バタビヤ赴任以來ジヤワ、スマトラ、ボルネオなどの各地復興狀況を視察中であつたが、要務打合せのため歸京することとなり、昭南經由十七日午後サイゴンに到着したが、各地の復興狀況につき左の如く語つた

四月復興半ばのジヤワに乘込んで以來つとめて各地を視察したがその復興ぶりは目覺しく、ほとんど完成の域に達したといつてもよく、後はもう施して行くだけだ、蘭印側施設を如何に活用するかにかかつてゐる、交通機關の復舊により物資出廻りも円滑となり、占領後一時招來された都市の物資不足もすつかりなくなつた、產業復興は一朝一夕になるのではなく、むしろ治安の確立をみた上で從來の產業形態を崩さずに漸進的にやつてゐる、原住民の日本に對する信頼度は今さら取上げるまでもない、三大都であるバタビヤ、スラバヤ、バンドンの蘭印色も一掃され全島を風靡してゐる三亞運動一色に塗りつぶされてゐる、ボルネオ、スマトラなどは復舊程度もやや遲れてゐる、ジヤワ附近の海は嚴として鏡の如く平穩で大船舶の必要なくジヤンクで結構事足り、現在南方各島間の物資交流はほとんどこのジヤンクによつて行はれてゐる、從つて有り餘るこのジヤンクを活用すれば船腹問題などは南方に關する限り心配ないと思ふ

義勇軍俘虜百二十四名釋放

【香港十七日同盟】さきに香港俘虜收容所では印度人兵士の釋放を行つたが、イギリス軍の強制により義勇軍として不本意ながら皇軍に敵對した中國人、マレー人、安南人などの義勇軍俘虜百二十四名を十七日午前十一時から元セントラレス病院の俘虜收容所で釋放式を行つた、義勇軍の大部分は香港大學學生および中學生で前非を悔ひ善良なる市民として更生東亞建設に挺身を誓つてをり、總督部では各人の就職を斡旋することになつてをり既に就職決定したものは九割以上に達してゐる

ベンゴール州に戰時體制

【リスボン十七日同盟】ニューデリー來電によれば、英印度軍司令官ウエーベルは瀕死來ベンゴール州を戰時體制下に置く各種布告を發した部十六日發表された、右はベンゴール灣沿岸水域における船舶航行の制限などを主とするもので、また目下同州市民の避難計畫も考慮中といはれる

印度暴動鎭壓に英空軍出動

【ストツクホルム十六日同盟】ロイター通信ニューデリー特派員の報道によれば、反英暴動鎭壓に苦慮する印度政廳は在印英空軍と聯絡をとり盛んに飛行機を出動せしめて民衆を威嚇してをり、英空軍偵察機は暴動發生地帶の上空を飛翔して鐵道、郵便局、政府建築物などを警戒してゐる

ることは前に述べた通り速戰速勝こそ敵必殺の先制の妙を發揮してゐるが、今後の戰時態勢は負けないための態勢でなく敵を叩きつける態勢を整へねばならぬ、アメリカの飛行機は叩きつけても叩きつけても濠洲方面を迂回して來るところから推しても生產に死物狂ひになつてゐると見られる、これらの點に鑑みて全國民全力を盡して戰力增強に邁進し、敵が反撃の準備を整へる前にこちらから徹底的に叩きつけて東亞共榮圈確立の邪魔ものを一掃せねばならぬ

全半島の赤誠により海軍機百五十數機が獻納されたことは洵に感謝に堪へぬところで、航空戰力の擴充增強は勝つための第一條件であるからもつと〳〵空への關心を強めて貰ひたい

勃經濟視察團訪伊

【ローマ十七日同盟】ソフイヤよりの情報によれば、貿易次官ゲオルギエフ氏を首班とするブルガリヤ經濟視察團の一行は十七日ソフイヤを出發、ローマに向つた、一行の使命はイタリー政府との間に新伊勃通商協定を締結するにあるさらにイタリー政府公表によればブルガリヤ隣相サチアニエフ氏も多數の專門家を同伴來る十月一日ローマを公式に訪問し、通商協定締結に關する最終的交渉に參加する豫定である

＝人＝

◇野田新吾氏（滿銀頭取）南鮮出張中十八日『のぞみ』で歸城
◇槇木幹雄氏（朝鮮社長）滿洲國建國十周年式典を終へ十八日『のぞみ』で歸城
◇小川好一氏（京城女子醫專事務長）新任挨拶のため十八日本社來訪
◇藤井策治氏（前電氣課長官）十八日『あかつき』で入城半島ホテルへ
◇金田榮太郎氏（日窒常務取締役）同上

時の録音

けふ、滿洲事變記念日。
×
大東亞戰下、改めてその意義を把握すべし。
×
けふ、時の記念日。
×
近視眼的世界觀を今こそ止揚し、心眼を刮け。
×
けふ、興亞奉公日。
×
國際ルート朝鮮の大動脈こそ鮮滿であることを忘るな。
×
けふ、價格停止令記念日。
×
價格違反は道義日本の最大恥辱と知るべし。
×
かくて九月十八日、國民はこの日を忘れてなるまい。

銃劍道の錬成陣新發足

裂帛火を吐く意氣

板垣軍司令官臨場　銃後の精鋭結集

感激の〝一突必殺〟をめざす銃劍道振興會京城聯合支部結成大會は第十一回滿洲事變記念日の十八日午前八時半から京城運動場で意義深く行なれここに決戦下國民武道の華、銃劍道の錬成陣は逞しく新しい發足をとげた【寫眞＝銃劍道支部結成式】

この日、感激の壯顏をかがやかせて府内在鄕軍人、青年訓練所、大學專門、中等學校生は新秋の朝風をきつて續々と晴れの會場へ集結午前八時には一萬五千の若人が鐵傘スタンドをところ狹しとばかりに埋め盡した、かくて同八時十五分大會開始の宣言は力強く告げられ榮ある鄕軍旗を先頭に鄕軍、學門、中等、青年訓練所と續いて運動場中央に入場の行進は續く—銃劍片手に身は凛然の武装、意氣天を衝かんばかりの銃後若人である、いよいよ同八時半、大會開會式は開かれた、國歌奉唱、宮城遙拜、默禱を捧げて後、鄭村聯合支部長が結成宣明及び式辭をのべて〝國民みな銃劍の道〟を強調、續いて井上慶太郎會長の訓示を大岩大佐が代讀、小磯總督の祝辭（眞鍋學務局長代讀）について板垣軍司令官が登壇

『いまや皇威は世界に燦として輝き、赫々たる戰果は北はアリユーシヤンの果てから南の印度洋までを壓し盡してゐる、銃劍道こそは其戰技の最高を極めて海に陸に皇軍獨特の威力を發揮して世界驚倒の的となつてゐる茲に神武國く銃劍道は國民武道の華として特に徵兵制を目の前に控へた朝鮮にとつてはその振興たるや切々たるものがあり諸君の鍛錬精進を願つてやまない』と熱血の激勵を賜つた、かくて同九時盛大な結成式は終り、ただちに銃劍道の供覽演技に入つた、鄕軍、學生生徒、青年訓練所生代表からなる基本教育、應用教育、假標刺突、試斬法と銃劍術の錬成課程が力強く繰展げられ、更に銃劍對銃劍、銃劍對軍刀、銃劍對短劍一人對二人と裂帛火を吐く模範試合が勇壯なる氣合とともに秋空をついて展開して同十一時半閉式、午後に入つては續いて實戰に即應する戰技大會が勝利にとゞろく軍國調を高鳴らせて繰展げられた

銃劍道の極致　模範試合に唸る

この日の壓卷陸軍戸山學校の教官石丸中尉、池田准尉、銃劍道振興會本部羽田、大坪兩教士の模範演武は結成式の最後を飾つて滿場を唸らせた、眞劍閃めく裂、假標刺突、軍刀操法、それに銃劍對銃劍、銃劍對軍刀、銃劍對短劍、直突、擴進、突撃精神に燃えた銃劍道の極致を發揮非常な感銘を興へた

神宮に祈る　滿洲居留民會

十八日は滿洲事變記念日＝顧みれば十年前柳條溝の爆發によつて生れた滿洲國は隆々驚異の躍進を遂げ、今や盟主日本の一翼として大東亞聖戰の完遂に偉大なる協力を續けてゐる、世界動亂の中に迎へ來る今日事變記念日に新なる決意と銃後奉公を朝鮮神宮の大前に誓ふ熱く參詣者に混つて午前十時滿洲國居留民會は日、滿兩國旗を掲げ全名譽總領事に率ゐられて神前に參拜した

近視は恥辱だ

林博士に訊く護眼法

けふ眼の記念日

眼を護れ、けふ十八日は眼の記念日だ、世界雄飛を目ざして戰ふ日本の國民はみんな立派な眼の力をもつて起たねばならない、そこでこの日城大醫學部眼科教授林朙三博士に眼の記念日の由來を訊き護眼法について種々訊いてみよう

明治十九年九月十八日畏くも明治天皇新潟縣下に行幸のみぎり沿道に奉拜してゐた民草の中に盲目の非常に多いのを御覽遊ばされて附近のものに原因を調べよと仰せ出し給うた、この有難き大御心を拜して調査の結果は榮養不良等のため失明するものが多いことが判り、早速對策を講じたが有難き御下問を拜し奉つた日を『眼の記念日』と制定爾來眼を護れの運動を續けて來たわけである

現在朝鮮に盲目の多い原因を調べてみるに榮養障害によるものが斷然多い、それは幼兒の場合人工榮養保育はビタミンAの缺乏によつて角膜潰瘍を起し、進んで失明となる、そんなときはせめて肝油をまぜて飲ませるとか、牛乳をやれば防げるのだし大人においては濃漏眼（風眼）からの失明が多い、一方文化が進むに從つて近眼が非常に多く百人に六七十名といつた多數を占めてゐる、この豫防としては照明と讀書を注意すべきである

近視は國防上由々しきもので殊に機械化された近代戰には困りものだ、だから出來るだけ近視を豫防することが、われ〳〵國民の責務だと思ふ、それと同時に大いに鍛ひ光線に眼を鍛へて南方へ進出する準備をすることも急務だと思ふ

侵入の賊追跡　河本部長ら豆滿江岸に殉職

【羅南電話】去る五日未明嚴重な豆滿江の警戒を冒した賊と壯烈な警察戰を演じて賊二名を殺傷、遂に警備側にも警察官、自衞團に二名の殉職者と一名の重傷者を出した事件は咸北警察部においても重大視し鋭意取調中であつたが、十七日次のやうに當局談を發表した

◇河本巡査部長以下三名の警戒班が一團となつて賊に突進した際不幸にも谷口巡査まづ賊彈をうけ續いて自衞團清水永斗君が斃された、怒りに燃えた河本部長は敢然として賊に組みつき捕縛せんとしたが、瞬間他の一名のために左胸部を狙撃されてその場に壯烈な殉職を遂げた、重傷をうけた谷口、清水の兩君は附近の病院で手當を加へたが、清水君は遂に正午頃『無念』と叫び息をひきとつた、當局としては同殉職者の功績に報ゆるためにその殉職者遺族の救恤について萬全の措置を講じたいと考へてゐる、なほ十九日同君等の所屬してゐた慶源警察署で盛大な警察葬を營むこととなつてゐる

航空實戰の講演會

遞信局航空課では十九日午後一時から公會堂に磯崎陸軍大尉を招き〝航空隊勤務者の實驗談〟と題する講演會を行ふ

二十日に弓道大會

廿日午前九時から奬忠壇公園京城弓道場で〔以下略〕…る、優勝者はそれ〴〵表彰され來賓多數も參加する

訪日の第二陣安着

颯爽、朴少尉も降立つ

歡喜と感激に沸返る國都新京を飛立つた訪日飛行滿洲國空軍隊は天候のため奉天に心ならずも一夜その翼を休め英氣百倍、十八日午前九時半全滿四千三百萬民の信望を擔つて奉天飛行場を離陸、編隊七機は瑞氣みなぎる南滿の空を航行、ある時は雲上飛行をある時は低空飛行を行ひ、午前十一時三十分訪日第一着陸地京城の上空に機影を現した

この日京城飛行場にはわが子の晴れの飛行姿を一目みたいばかりに朝早くから出かけた朴少尉の父朴禹康さんが親戚の若いものに圍まれて、長い白鬚をなでながら北の空をぢつと見守つてゐる

編隊機は左に大きく一旋回した着陸姿勢だ、一機、二機つゞいて三機、四機と着陸

第三機滿洲國安東第二號機から飛行靴に地圖をはさんで颯爽と朴少尉が午後十一時五十分降立つた【寫眞＝鄕土入りの朴少尉と同嚴父】

朴少尉の感激

晴れの訪日飛行に只一人の半島出身朴承煥少尉は語る

父親と會ひましたが、手を握りしめただけでしばらくは何も話せませんでした、新聞を見まして私のために大變な歡迎に誠に相濟まぬと思ひます、鮮系を代表して五族協和のために誓つて使命を果す決心です

第一陣出發見合せ

【福岡電話】雁ノ巣空港に十七日機の車輪を止め、同夜福岡に休養のため一泊した訪日國軍飛行隊總指揮官郭若霖少將、野口參謀中指揮官以下搭乘員の一行は十八日午前八時福岡空港を出發、大阪に向ふ豫定であつたが、都合により同日も出發を中止した、なほ目下のところ出發日時は未定である

英靈に感謝と冥福

けふ滿洲事變記念日

【新京特電】九月十八日、今年また巡り來つた滿洲事變記念日、柳條溝の一發の際に起つた爆音こそ誠に人類に告げる新世界將來の神宮だつた、それから早くも十一星霜人類の和平を希つて起ち上つた皇國の大理想な支那事變となり、大東亞戰爭と發展して今や混沌の世界は新一新秩序の樣相を固めつつある、建國十周年記念の慶祝に沸き返る滿洲四千五百萬民衆は、十八日全滿一齊に忠靈塔の祭典を行つて十一年前の貴き英靈に深い感謝と冥福を祈つたがこの日新京では午前四時在鄕軍人全員を召集して拂曉演習に當時を追憶し、忠靈塔前に整列、中央通路上で堂々大分列行進を行ひ士氣を鼓舞した一方滿軍飛行場では吉林郡民の結晶になる飛行機二機の獻納式あり、寬城子戰跡記念碑前では嚴かな慰靈祭が執行され、全市民當時を追憶して意義深き記念日を送つた

藤本證券の投資信託

——安全且有利な——

投資證券	
大東亞戰爭國庫債券	三菱重工業株式會社株式
第二回戰時金融債券	住友金屬工業株式會社株式
株式會社日本興業銀行株式	日本郵船株式會社株式
日本發送電株式會社株式	株式會社神戸製鋼所株式
關東配電株式會社株式	昭和電工株式會社株式
東京芝浦電氣株式會社株式	株式會社日立製作所株式
帝國鑛業株式會社株式	株式會社新潟鐵工所株式
東洋紡績株式會社株式	大日本製糖株式會社株式

けふの市況

株式　氣乘薄く　一不味

前場　新規材料涸渇々相場行不透明から一般に氣乘薄く新東百二十九円七十錢と三十錢安に寄付き引値百八円七十錢と…〔以下不鮮明〕

後場（下漏る）下値な突…〔以下不鮮明〕

〝實物〟軟調

十八円十錢であつた…さすがの人氣も漸く買疲れ…

有價證券時價總額　値下り十億圓

株式調査＝八月初め現在における鮮内有價證券時價總額は一千百四十五億九千五百萬円（内株式四百十二億二千萬円、債券六百五十億七千五百萬円）である、これを標準として前月に比すれば十億五千六百萬円の値下りを示し、前同期（最近の安値當時）に比すと逆に百一億四千八百萬円の値上りである

現株仲値（十八日）　株式（十八日）　朝取短期　大株短期　東株短期　東株長期　大株短期喰合　鮮銀貸出（十七日）〔相場表の數字は不鮮明〕

三國志　赤壁の卷（910）

吉川英治（作）　矢野橋村（繪）

趙子龍（三）

はるか漢水の東に陣してゐた黄忠の部は、その朝、北山の麓を見て、『すは、一大事』と、仰天した。

にはかに兵を下知して、自身、眞つ先に立ち、北山に馳けつけて來てみた時は、すでに全山の嶮路や坂道につゝまれ、諸所の山道や嶮路では、黄忠の部下と、これの守備隊の兵とが、入り亂れて戰ひの最中であつた。

『しまつた』——と張郃は足ずりして、

『この上は、小癪な蜀の雜兵を踏み殺し、せめてはその首將たる黄忠の首でも擧げねば魏公に申しわけがない。さなくとも彼黄忠は夏侯淵の仇、討ちもらすな』

と、部下を勵ましました。

山上山下、木も草も燃ゆるなかに、叫ぶ者、哭きあふ者、血みどろな白兵戰は、陽の高くなるまで續けられた。

早くも、この事は、曹操の本陣にも達したし、またそこからも北たことを『知らないか、趙子龍がこれへ來

と、趙雲の突つ込んだ。まん中へ馬を兵か煙か、渦巻く中に、ただひとつ、敵の影のみは々、無数の蹴散らし槍を踏みつぶしつゝ血しほの虹を撒いて馳け廻つてゐた。そのうちに張郃や徐晃の面々も意識せずに突破して趙雲の前に馬を立てることは出來なかつた。

〔挿繪〕

山の黒煙りがよく見えた。

『徐晃、行け』

曹操は更に檄撥を送つた。

このとき、既に未の刻は過ぎてゐた。漢水の彼方、今朝から固唾をのんでゐた蜀の趙雲は、

『——まだ午の刻にはすこし間があるが、あの黒煙が空に見え出してから時も經つ。いでこの上は』

と腕をすゝめて、部下の張翼に、老黄忠の安否を見届けん——』

『さきにもいつた通り、汝は營の狭間々々に弩を張り、敵が迫るとも、みだりに動くな』

いひ殘すや否、三千の兵をさしまねき、野を走せ、數條の流れを越えて、ひたぶるに北山の黒煙へ近づいた。

『見つけたり。どこへ行く』

とばかり、魏の文聘が手下の部隊を率いて、大將を擁して、彼の道をさへぎつた。

『うい奴だ。迎へに來たか』

と趙雲は、ただ一突きに、突殺して、血しぶきの中を、駈けぬけて行く。

『やあ、味方かと思へば、敵の新手か。大將、これへ出よ』

とかく、重厚な一軍が呼ばはり阻める彼の名乘るを聞けば、『われこそ魏の大將焦炳なり』

と、いふ。

趙雲は鼻へすゝんで、

『先に來た蜀の一軍はどこにゐるか』

と、云つた。焦炳は、呵々と打笑ひながら、

『何を寢ぼけてゐるか。黄忠は、一兵のこらず誅殺した。汝もまた、わざ〳〵骸を埋めに來たか』

云ひつゝ馬上から躍り三尖刀をさしのべた。

『ほんとか！』と趙雲は、有りツたけな聲で、相手へ吼えかゝつたかと思ふと、

『では、弔合戰の手始めだ』

ばかり、焦炳の胸いたへ、ぶすと槍を突きとほし、大空へ刎ねあげて、

ゐたが、誰あつて、趙雲の前に馬を立てることは出來なかつた。

『趙將軍だ。趙將軍だ』

北山のこゝかしこで、敵の重圍に墜ち、殲滅の寸前にまで追込まれてゐた黄忠軍は、彼が救ひに來たと知ると、思はず歡呼をあげて集つてきた。

五百の兵は、三分の一に討ち減らされてゐた。それでもその中に黄忠の顏が見えた。趙雲は黄忠の身を抱へんばかりに鞍を寄せて、

『お迎へに來た。もう安心されい』

と、一敵に走り出した。

黄忠はなほ振向いてばかりゐて部下の張著が見えないと嘆いた。趙雲はこれを聞くとまた取つて返し、べつな圍みから更に張著を救ひ出して走り出した。

曹操は高きに登つて、その日の戰況を見てゐたが、大いに愕いて、

『あれは常山の趙子龍であらう。子龍以外にあんな戰ひ振をする者はない』と、急に、

『輕々しく前に立つな』

と、諸將を戒めた。方の大衆に、無用の命をすてる勿れと戒めた。

特選高段者將棋

第九回（圖は前局三九龍迄）

先　五段△藤川義夫
　　五段▲北楯修哉

持時間各六時間　消費時間（△一〇・三〇　▲一一・五六）

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香					王	桂		香	
二		飛			歩	銀				
三			角	歩		歩	歩	歩	歩	

〔盤面の細部は不鮮明〕

▲北楯氏　金銀

▲3三歩　△同　龍　▲8五歩　△3九龍　▲8六角　▲6八角

木村名人講評

先手六四角出から三三歩成によつて敵龍を後退せしめる順では、攻めの後昧がやゝ攻勢有利となつた。後手六三歩、八五歩は、自ら角と桂の活躍を阻止するに等しいが三九龍と侵入する爲めには已むを得ない。この順を思ふにつけ前局の三九龍が惜しまれる。

九月一日抽籤

戰時債券當籤番號表（其ノ一）

（番號表中太字ハ回別、括弧内ハ割増等級竝金額）

（大藏省・日本勸業銀行發表）

債券報國　3

割増金（壹等）拾五圓券　五圓券

壹萬圓券 五千圓券：25730

（貳等）拾圓券 五圓券

壹千圓 五百圓：3049　49859

（參等）拾圓券 五圓券

拾圓 五圓					
	396	1044	1759	2385	3244
	471	1068	1770	2394	3270
	485	1069	1879	2398	3306
49	530	1111	1957	2482	3358
96	679	1227	2004	2674	3428
131	724	1272	2045	2765	3525
152	753	1324	2131	2890	3539
199	783	1369	2173	2910	3556
243	789	1386	2197	2913	3654
248	924	1533	2205	3127	3709
272	927	1575	2284	3139	3823
291	1043	1685	2310	3175	3870

4013	5099	6669	7875	9187	10304	11787	13143	14847	16322
4033	5239	6765	7987	9188	10731	11823	13206	14925	16358
4065	5301	6791	8009	9201	10769	11930	13314	15012	16373
4185	5452	6863	8018	9227	10824	11961	13345	15016	16395
4208	5467	6996	8022	9233	10905	11978	13557	15067	16527
4254	5518	7011	8040	9309	10975	12054	13598	15080	16629
4255	5573	7110	8091	9422	11017	12076	13677	15090	16895
4261	5622	7135	8182	9447	11052	12112	13925	15097	17056
4283	5633	7173	8214	9533	11087	12146	14008	15138	17064
4320	5683	7196	8276	9588	11109	12172	14015	15175	17082
4482	5796	7217	8327	9612	11133	12193	14020	15209	17098
4522	5802	7249	8419	9750	11173	12209	14139	15296	17153
4612	5844	7254	8508	9753	11188	12222	14212	15462	17246
4630	5878	7460	8619	9767	11216	12241	14230	15479	17304
4705	5892	7508	8633	9816	11241	12244	14295	15581	17379
4745	5958	7562	8644	9838	11256	12493	14316	15588	17436
4781	5967	7586	8671	9877	11358	12513	14363	15616	17517
4782	6035	7630	8713	10032	11435	12564	14535	15709	17540
4852	6361	7675	8766	10097	11465	12598	14539	15787	17552
4860	6367	7704	8940	10144	11642	12609	14553	15850	17631
4875	6371	7705	8978	10185	11645	12649	14600	15905	17667
4904	6468	7712	8987	10222	11681	12686	14674	15962	17801
5011	6590	7737	9094	10238	11692	12714	14717	16178	17838
	6667	7778	9147	10273	11720	12761	14833	16188	17863

17949	19378	20291	21610	22863	24174	25809	27199	28740	30298
17970	19386	20305	21691	22871	24214	25938	27239	28826	30352
17977	19412	20494	21727	22934	24234	26107	27334	28878	30374
17991	19441	20516	21762	22958	24249	26150	27571	28894	30432
18016	19488	20522	21764	23105	24430	26192	27605	28928	30439
18036	19542	20538	21773	23149	24458	26297	27612	29027	30619
18115	19649	20615	21802	23217	24524	26311	27651	29050	30648
18133	19668	20733	21928	23274	24532	26407	27726	29096	30655
18167	19751	20760	22003	23318	24746	26432	27798	29154	30759
18191	19754	20776	22132	23334	24797	26447	27871	29163	30780
18204	19766	20813	22149	23372	25008	26493	27880	29215	30789
18211	19783	20861	22197	23505	25026	26613	27923	29317	30837
18213	19797	20869	22229	23595	25052	26615	28044	29427	30864
18541	19848	20952	22265	23603	25312	26660	28128	29477	30895
18553	19876	21125	22335	23729	25344	26681	28146	29546	30960
18682	19889	21174	22343	23809	25356	26742	28147	29588	31008
18750	20022	21282	22492	23856	25431	26770	28330	29627	31011
18767	20064	21301	22502	23876	25493	26775	28366	29686	31019
18821	20106	21302	22566	23916	25515	26809	28419	29745	31122
18847	20110	21341	22633	24113	25600	26874	28483	29785	31158
19071	20151	21382	22647	24138	25610	26948	28524	29871	31163
19115	20223	21486	22790	24169	25698	26990	28591	29935	31168
19214	20245	21537	22829	24170	25714	27037	28639	30035	31182
19319	20286	21553	22845	24173	25720	27133	28664	30270	31206

31270	32665	33651	34868	36174	38195	39011	40190	41241
31282	32666	33673	34914	36214	38214	39091	40202	41276
31497	32700	33707	35058	36243	38221	39107	40207	41325
31508	32761	33761	35251	36414	38222	39109	40225	41332
31638	32836	33787	35253	36420	38240	39110	40285	41469
31791	32873	33810	35271	36445	38270	39153	40401	41523
31871	32955	33914	35293	36485	38286	39167	40439	41552
31894	32973	33919	35372	36656	38325	39233	40460	41563
31950	33082	33982	35480	36787	38369	39249	40521	41607
31975	33160	34127	35492	36877	38452	39251	40543	41738
32003	33308	34149	35592	37026	38480	39282	40594	41754
32016	33376	34254	35647	37349	38502	39379	40731	41766
32140	33441	34269	35656	37403	38520	39393	40867	41778
32198	33457	34316	35722	37473	38641	39439	40883	41852
32392	33500	34361	35726	37528	38649	39468	40984	41884
32471	33520	34390	35744	37646	38662	39556	40997	42137
32567	33533	34451	35757	37761	38704	39736	41027	42173
32573	33549	34560	35769	37765	38752	39754	41032	42294
32585	33559	34602	35799	37820	38779	39807	41052	42407
32600	33565	34645	35926	37880	38818	39855	41060	42410
32601	33587	34683	35996	37905	38859	39932	41161	42445
32624	33607	34775	36081	37934	38945	39937	41163	42493
32653	33642	34784	36098	38009	38961	40045	41180	(其ノ二ニ續ク)
32656	33644	34833	36125	38031	39005	40148	41205	